

多賀工業会 東京支部會報

2011年8月 第14号



夜 雨

***** 2011年 第14号 目次 *****

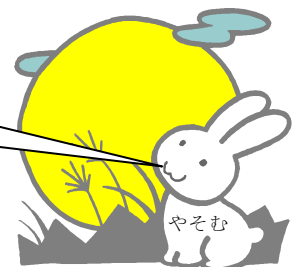
報 告	東京支部同窓の集い速報	小澤 茂	1
	支部長交替挨拶	支部長 三本木 武	1
大 震 災	母校復旧支援募金の報告とお礼	支 部 長	2
	災い転じて福となす	関 晋	3
	原発はこれからどうなるの?	高萩 隆司	4
	短歌で綴る東日本大震災	内田 茂	5
報 告	第30回東京支部総会報告	森田 徹郎	6
	支部長挨拶	支部長 三本木 武	7
	出席者名簿	7
	講演概要	松田 秀雄	8
	女子会設立提案の契機	幹事長 広瀬 行一	9
	女子会ホームページ誕生の秘話	小澤 茂	9
	平成22年度東京支部会計報告	10
	平成23年度東京支部予算	10
随 筆	往時茫々	飯島 公正	11
	残軀妄言	小波倭文朗	12
	環境 ISO 認証活動 10年	小田倉勝夫	13
	定年してからが本当の仕事	安藤 雅	14
	元気がいちばん	銭場 礼子	15
	Society of Women Engineers 参加報告	山本 夏江	16
支部めぐり	九州支部の紹介	宗像 智次	17
	パソコンミニ情報	HP 編集室	17
インタビュー記事(活躍人訪問)	村松 泰弘氏		
	ギターの魅力を聞く	インタビューア・石川 久	18~19
お知らせ	囲碁同好会	田中栄太郎	20
	旧制水戸高校と親善囲碁大会	高田 丈夫	20
	ゴルフ同好会	小澤 茂	21
	山遊会	小森 廣樹	22
	写真同好会	小林 渡	24
	第30回東京支部総会写真展出展リスト	写真同好会	25
	快舞会(ダンス同好会)	瀬在 城雄	25
	平成22年度会費納入者	会報編集室	26~27
	ホームページ編集室から	HP 編集室 矢野 睦男	28
	第5代支部長に選ばれて	次期支部長 上月 秀俊	28
	編集後記	28
	東京支部会則	表3
協賛広告	上野精養軒・サイバーリンクス・大協印刷	表4

表紙の説明 : 夜雨 (撮影2010年 10月) 全日本写真連盟埼玉県本部入賞作品
 千葉県佐原の大祭の撮影会に行きましたが、豪雨のため山車はビニールで覆われ撮影にならず、小川の歩道を撮影しました。白い傘をさす人、雨の歩道の光等のコントラストが評価されたと考えております。
 鈴木日出男 (昭30学原)

表紙の題字 : 小澤 茂 会員 (昭43学子)



君も見よこの春月の明るさを
 今なほつづく余震あれども



東京支部同窓の集い速報

(第31回東京支部総会)

今年度から従来の呼称「総会」を上記のように「同窓の集い」と変更いたしました。

総合司会 小澤 茂 (昭43 学子)

東京支部総会は、平成23年度多賀工業会同窓の集いと合同で、6月25日(土)15時から19時まで、上野精養軒で開催されました。

友田陽工学部長、本部顧問寺門龍一(昭25 専電)氏をはじめ、本部長木曾正明(昭29 学電)氏ら理事会メンバーが集合し、出席者総数126名となりました。

遠路はるばるのご出席、誠に有難うございました。

第1部 総会 (15時10分～15時45分)

三本木武(昭30 学金)支部長挨拶で支部長交代が発表され、本部の臼井新会長の来賓祝辞に続いて年間行事、同好会活動報告および会計報告等が行われ、次期支部長に選任された上月秀俊(昭36 学機)氏の挨拶がありました。

第2部 ギター演奏会 (15時55分～17時05分)

日本ギター普及協会大里支部長 村松泰弘(昭44 学電)氏による「ギターで綴る世界の名曲」の演奏があり、昔懐かしい曲に合わせて口ずさむ人も大勢おられました。アンコール曲は東日本大震災で被災された方々に勇気を与えようと「アベマリア」で終了しました。ギターの音色を堪能し、新しい多賀工業会の姿を口笛で称えて貰いました。

第3部 懇親会 (17時10分～19時15分)

3階桐の間に、年代に近い仲間が11卓を囲み、近江義勝(昭28 学電)氏の乾杯が済むと、被災地から持込んだ日本酒が紹介され、楽しい懇談が始まりました。校歌斉唱では橘弘(昭38 学電)氏のクラリネットに村松氏のギター伴奏が加わり、全員の合唱となって大いに盛り上がりました。



写真展

恒例の写真部協力の写真展が2階藤の間の壁面を飾りました。埼玉県展の重鎮斎田和夫(昭28 学機)氏は別格で、部員の活躍が高く評価されました。今年は玉川信二(昭28 学電)氏の仏像彫刻と、村松泰弘氏的水彩画4点と沢山のスケッチブックが展示され、参加者の賞賛を集め、美術展への変貌が見えました。

支部長交替挨拶

支部長 三本木 武 (昭30 学金)

総会に先立ち、昨年末から本年5月までに他界された同窓生諸兄および先般の東日本大震災で死去された方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げたいと思います。(黙祷・・・)

さて、本年の第31回東京支部総会は「平成23年度多賀工業会同窓の集い」と同時開催となりました。そのため出席者は本部「同窓の集い」に出席した26名を加え計126名の方に出席を頂き、盛大に第31回支部総会ができますことを大変嬉しく心から感謝とお礼を申し上げます。

この度は未曾有の巨大地震と津波により被害を被り、その上福島第一原子力発電所の事故で放射能被害を受けて、国民感情は悲しみに打ちひしがれた状態にあり、催事や集会は中止か延期という風潮が広がりました。

そんな中で東京支部は、3月30日臨時幹事会を開き「本部と支部が同時開催する総会をどう進めるか」を検討しました。その結果、①会期は延長せず予定通りとする。②被害支部には多賀工業会会長からお見舞文を出す。③母校の被害に対しては、支部会員より募金を集めて支援する、ということになりました。

東京支部は、さっそく4月1～3日「母校(茨大工学部)復旧支援募金のお願い」はがきを作成し、支部会報の配布者約1000名に発送したところ4～6月の3ヶ月間で、227名の方から計230万1千円の募金が集まりました。

このように多数の会員から心情の籠ったご支援を戴いたのは、母校への絆と思い遣りがあったからと心より厚くお礼申し上げます。

昨年、支部活動方針として懸けた二つの方針は、総会の出席者を100名以上にすることは何とかパスしたが、年会費納入者を300名以上に増やすことは未達成なので、今後の努力に期待することになります。

私事ですが、私は近江前支部長から一期2年ということで支部長を引き受けました。それは2年間で、支部創立30周年記念事業と平成23年6月に本部と支部が同時開催する総会をやった後、若手支部長にバトンタッチしようと考えていたからです。そこで去る5月の支部幹事会で、次期支部長に上月秀俊副支部長(昭36 機)を推薦し承認されたので、支部規約により本総会でご承認を頂きたくご提案いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

短期間ではありましたが、支部役員をはじめ会員の皆様には大変お世話になり心から感謝とお礼を申し上げますと共に、新支部長に対し倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

母校復旧支援募金の報告とお礼

平成 23 年 6 月 30 日

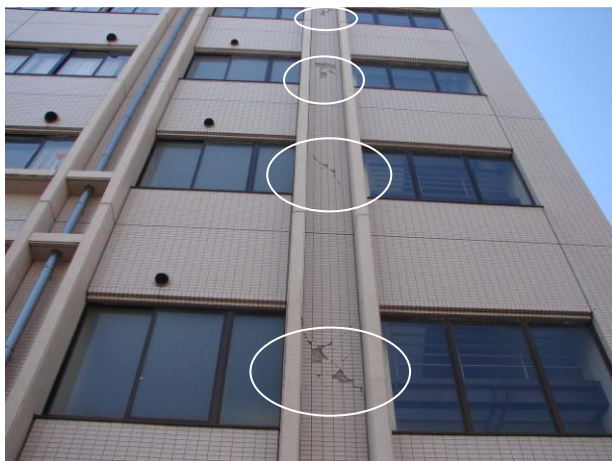
東京支部長 **三本木 武** (昭 30 学金)

この度の東日本大震災により母校（茨城大学工学部）が受けた被害に対し、支部会員の皆様に「復旧支援募金」をお願いいたしましたところ、多数の会員各位から心情的籠もったご賛同を賜りまして、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。集まった募金は多賀工業会本部を經由して母校へ贈りました。

去る 4 月 6 日より 6 月 30 日まで 3 ヶ月間の合計募金額は **2,301,000 円**、募金協賛者は **227 名** で下記に示す方々です。重ねてお礼申し上げます。

協賛者名簿 (卒業年次順、学科は順不同、敬称略。卒年次学科の注:標準の”昭”、”専”、”学”は省略し、”平”=”H”と表記。)

ご芳名	卒年次 学科	ご芳名	卒年次 学科	ご芳名	卒年次 学科	ご芳名	卒年次 学科	ご芳名	卒年次 学科	ご芳名	卒年次 学科
坪能 進	17 金	藤田 勲	19 原	友保 伊弘	20 原	山本 奎兵衛	20 通	竹内 靖夫	20 電	明石 和夫	22 金
塚越勇他有志	22 金	保坂 博	22 通	幸道 貞一	22 通	梅田 政夫	23 機	飯島 公正	23 原	保坂 昭三	23 電
塩野 譲	23 電	真中 和夫	24 原	鳥山 尚利	24 精	杉山 六郎	24 舶	城田 一成	24 通	酒井 三郎	25 機
高橋 清	25 電	有賀 久	26 金	菊池 玲二	26 通	小白井 和典	28 機	高田 丈夫	28 機	関 英雄	28 機
山口 茂男	28 原	戸島 日出雄	28 原	近江 義勝	28 電	中原 太平	28 電	藤田 史郎	28 電	奥野 眞治	29 原
石橋 弘	29 原	松澤 勝海	30 機	黒澤 正蔵	30 金	三本木 武	30 金	鈴木 日出男	30 原	高橋 義博	31 機
細井 陽子	31 金	山崎 慎一郎	31 原	瀬在 城雄	31 原	大内 孝	31 電	藤川 俊明	31 電	伊藤 義次	32 機
平沢 正一	32 機	國井 榮次	32 機	金子 栄	32 原	舛井 祝男	32 原	矢野 睦男	32 原	榊原 康夫	32 原
田崎 耕八	32 電	小室 秋生	32 電	山下 正明	32 電	横山 衛	32 電	渡辺 英雄	32 電	奥 康治	33 機
三浦 陽	33 金	荒川 靖	33 金	吉久保 節男	33 原	鳥居 由幸	33 電	粕谷 宏夫	34 原	秋山 光庸	34 原
結城 佑	34 電	高野 久弘	35 機	真下 知行	36 機	上月 秀俊	36 機	柏木 尚	36 機	綿引 憲夫	36 機
佐伯 明良	36 電	小宅 仁	36 電	野本 光彦	37 機	宮沢 信夫	37 機	塚 弘	37 機	服部 則男	37 機
菊地 耕基	37 機	栗橋 貞夫	37 機	寺門 紘	37 化	西川 正登	37 電	駒場 方耀	38 機	徳江 景英	38 機
小林 一	38 機	長谷川 幸夫	38 機	佐藤 幸一	38 機	河上 弘一	38 機	寺門 章	38 機	豊田 元雄	38 機
中村 好秀	38 機	半田 守正	38 機	矢部 功一	38 化	大塚 進	38 化	小田倉 勝夫	38 化	白石 道彦	38 化
高木 二郎	38 化	矢嶋 國男	38 精	黒羽 昇	38 精	市村 敬司	38 精	兼子 八郎	38 電	小林 渡	38 電
遠藤 喜久男	38 電	熊谷 文男	38 電	広瀬 行一	38 電	新沼 厚生	38 電	寺内 賢一	38 電	後藤 紀夫	38 電
橋本 政巳	38 電	佐々木登喜夫	38 電	庄田 幸夫	38 電	橋 弘	38 電	大久 忠雄	38 電	坂野 栄	38 電
今橋 富美男	38 電	大竹 充	38 電	内田 茂	38 電	海老原 雄二	38 金	鈴木 鐸士	39 機	笈 逸男	39 機
三好 成實	39 機	大谷 義隆	39 化	大原 広哉	39 電	磯崎 洋子	39 電	原 俊彦	39 電	横山 安行	39 金
熊倉 通	40 機	菅谷 忠雄	40 機	田中 栄太郎	40 化	大泉 雅靖	40 精	寺 紘一	40 精	青野 潔	41 化
小谷野 英勝	41 化	矢島 勝司	41 化	橋川 隆夫	41 化	斎藤 保夫	41 化	斎藤 勇治	41 精	藤嶋 久波	42 機
菅谷 禎男	42 機	若杉 洋三	42 機	小森 廣樹	42 機	高橋 勝	42 機	武田 昌房	42 機	八重樫 春美	42 電
三橋 義宏	42 電	中山 武	43 機	西田 裕	43 機	藤沼 隆夫	43 機	鈴木 竹四	43 金	後藤 豊弘	43 電
金子 民生	43 子	川野輪 滋美	43 子	佐藤 将彦	43 子	袴塚 邦彦	43 子	角田 勇	43 子	大竹 國男	43 子
小澤 茂	43 子	小泉 裕	44 機	河野 公三	44 機	酒井 茂	44 金	山口 良治	44 精	篠原 淳	44 電
常盤 浩央	44 子	石川 久	44 子	堀口 正治	44 子	大森 孝道	44 子	原 誠之助	45 機	笹沼 克己	45 機
永木利夫	45 電	千葉 祐治	45 子	小野 俊昭	46 機	大井川 勝雄	46 金	今富 久雄	46 金	宇留野 一広	46 化
狩野 守	46 電	飯塚 英一	46 電	栗原 功幸	46 子	白鳥 廣蔵	47 院機	中條 博史	47 金	永棟 敏夫	47 電
五十嵐 喜良	47 子	宮城 緑郎	48 機	芹澤 広行	48 機	糸井 良友	48 金	井口 泰男	48 化	福島 良信	48 精
小沼 哲也	48 子	松田 秀雄	49 院子	岡村 弦三郎	48 金	金子 利久	49 化	坂本 淳	49 電	川村 雅生	49 電
松尾 泉	50 機	渡辺 隆	50 金	坪井 敏宏	51 化	若菜 泰	51 子	新田 隆	52 情	亀ヶ谷 茂	53 精
佐藤 知	53 電	佐伯 豊	54 子	中目 善嗣	54 子	峰村 勝幸	56 機	大野 徒之	56 金	水口 一郎	57 機
青木 貫司	57 子	白井 可隆	58 金	原 保則	59 機	赤尾杉 隆	59 情	太田 悦子	60 電	銭場 礼子	61 化
神作 武志	62 機	鈴木 葉子	62 化	佐々木 史郎	62 精	小川 浩一	63 機	橋本 豊重	63 金	藤田 良枝	63 院化
綿引 雅也	63 精	山田 由子	H1 金	東 學	H8 院生	生井澤 伸秋	H8 子	黒川 賢	H9 院情シ	小野村 竜	H9 電子
山本 夏江	H10 機	濱田 理恵	H10 情	岩崎 友美	H12 機	竹内 博次	H5 院機後	金子 裕	H16 子		



東日本大震災で母校工学部が被災



↑ 情報工学科建物外壁被災状況 (○印箇所)

↑ 生体分子機能工学科実験室被災状況

大震災

わざわ 災い転じて 福となす

(福島第一原発事故に思いを寄せて)

関 晋 (昭 38 学精)

◇ お見舞いと哀悼の意

此の度、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災、東北は言うに及ばず茨城、千葉等にまで大災害をもたらした。巨大地震、それによる津波は地域住民の家、屋敷を一瞬にして押し流し、さらに最も信頼のおける親、兄弟等の親族、知己共々無残にも失わせ、その痛手、悲しみはいかばかりであろう。今、生き永らえている方々には心よりご同情申し上げると同時に、亡くなった方あるいは行方不明の方々にも深く哀悼の意を表したい。



◇ 安全神話の崩壊

またそれら（地震、津波）によって引き起こされた災害は国のエネルギーの中核である原子力施設にまで及んだ。福島第一原発から周辺地域に放射能飛散をもたらし、原発 1 号機はメルトダウン（炉心溶融）を引き起こし、2、3 号機もその危険性あるという大惨事となった。地震の大きさがマグニチュード 9 という想定外ということから設計に反映されなかったと元原子力安全委員長は責任逃れの言い分けをしているが、実際に起こった現実をみれば従来盲信していた原発の安全神話は完全に崩れたことになり、その言辞は許されない。

◇ 首相要請の重み

今回の事故を受けて 5 月 7 日、菅首相は影響の甚大さから今後 30 年間にマグニチュード 8 クラスの東海沖地震が予測されるという文科省地震研究所の報告を受けて中部電力浜岡原発の 3 号機の運転再開の中止と 4、5 号機の運転中止（1、2 号機はすでに廃炉と決定）を中部電力（株）に要請した。会社側は経営的にも、また中部圏の経済的波及にも危惧の念を抱きつつ反論の明確な理由を見い出せないこともあり、一国の首相の要請は

命令でなくとも重いと受け止めた承し、5 月 15 日に全面停止した。

◇ エネルギー基本計画の見直しと評価

菅首相はその後、間髪をいれず「2030 年までに我が国の総発電量の割合を原発が 50%としている今のエネルギー基本計画を見直す」と発言した。この発言は、これまで多大な影響力を保持してきた原発推進派にとっては少々衝撃だったかも知れない。そして、こんな行為を一般市民、世論も大きく評価した。この事実を自分も好意的にとらえた。それは長年に渡って原子力の環境分野に携わって来た思いがあったからであろう。

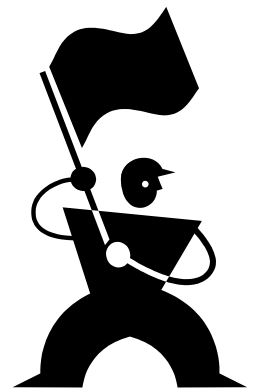
この出来事は重大である。従来、供給側（業界）優先であった仕組みを消費者（住民の安全とか、健康とか）の視点に方向を転換したことになる。ここから社会の仕組みも大転換がせまられることになる。

◇ 少子高齢化と価値観

我が国の人口構成は今後少子高齢化の傾向をたどる。経済成長第一の価値観は変わらざるを得ない。電力不足の折からでもあるが、真夜中に棚田をライトアップしたり、真冬に真夏の食べ物（トマトやキュウリ）を食したりの法外な贅沢は慎まねばならない。なんと言っても旬のものが一番うまいはずだ。こういう身の丈にあった生活は持続可能な環境を維持することであり、意識を変える必要がある。

◇ 被災地の方々にエール

被災地の皆様には更地となった地からだが、そこより過去のしがらみに捕らわれない新しい発想が生まれるものだ。不謹慎な言い方かも知れないが、この災害を変革の絶好のチャンスと捉え「災い転じて福となす」と考えて、真の復興、実現に向かってたゆまず前進する被災地の方々にエールを送りたい。



著者 プロフィール

1963 年 茨城大学工学部精密工学科卒

～1,999 年 日本原子力研究所勤務

東北大学博士号取得

専門 環境安全

～2,008 年 東京都立生涯学習センター嘱託

原発はこれからどうなるの？

高萩 隆司 (昭 38 学電)

1. はじめに

母校の工学部校舎の近くを走っている国道 6 号線 (陸前浜街道) は、北茨城を抜け、勿来の関を越えると、我が故郷福島県いわきへと入る。更に、北上すると、双葉、相馬の通称「原発銀座」に至る。ここには、東京電力福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所に合わせて 10 基の原子炉があり、合計 910 万 kW の設備容量をもち、首都圏への電力供給の基地となっている。

この 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、この身近な浜街道沿いの地域が大きな被害を受けた。地震による工学部校舎の損壊、五浦海岸にある岡倉天心ゆかりの六角堂の流失、更に浜通り海岸地帯一帯の津波による惨事など、大きな被害をもたらした。その中で最もシリアスなものは、福島第一原発の事故に尽きるのではではないだろうか。

この時に巡り合わせた者として、事故の記憶を留めたいと思い、これを記します。

被害者には、心からお見舞いを申し上げます。

2. 福島第一原発の事故

3 月 11 日 14 時 46 分に三陸沖で発生したマグニチュード 9.0 の巨大地震が福島第一原発を襲い、震度 6 強、最大加速度 550gal という設計加速度を超えた揺れをもたらした。原子炉は、緊急停止をしたが、外部電源と連係している送電線の鉄塔が倒壊し、外部からの給電がたたれた。直ちに非常用電源が稼働したが、41 分後に高さ 14m を超える津波の第一波が、防潮堤を超えて建屋にまで侵入し、肝心の非常用発電機や燃料タンクを破壊してしまった。

かくして全電源喪失となった原子力発電所は、冷却水の補給を断たれ、燃料の崩壊熱により冷却水が蒸発し、気中に露出した燃料棒は溶解が始まり水素を発生した。肝心の「非常用炉心冷却装置」も、電気のない状態では機能し得なかった。発生し続ける水素ガスによって格納容器の圧力が上昇し、設計圧力の 1.5 倍にも達するに及んで、格納容器の破壊を避けるため放圧弁 (ベント) の解放を行ったが、建屋内での水素爆発が起こり、放射性物質を空中に放出してしまった。我々は、このような報道を、ただ固唾を飲んで見守るばかりであった。

原子炉の安全対策は、「止める」、「冷やす」、「閉じ込める」が基本であると教わってきたが、「止める」ことには成功し、残念ながら「冷やす」ことに失敗し、水素爆発により放射性物質を放出してしまった。このため地元の 8 万人を超える住人を悲惨な避難民としてしまった。

その原因は何であったのか。私は第一には津波の大きさの予測が甘かったと考える。この原発の設計仕様値 5.7m に対して、結果的には 2.5 倍の津波が襲ったことになる。今回の災害では、宮城・岩手海岸とも、津波の被害が顕著であり、TUNAMI 先進国であるはずの日本が、津波に負けたことは残念の極みである。

しかし、同様な地震や津波を受けた福島第二原発や女川原発は、僅かな海面からの高さの差で、正常に緊急停

止をし、冷温停止状態となっている。今後徹底的な検証をして頂きたい。

3. 原発はこれからどうなるの？

この福島第一原発の事故を契機に、反原発のムードは一気に高まっている。避難者の怒りは理解できる。しかし、これからのエネルギー政策は、冷静に考えるべきと思う。エネルギー問題は、日本だけの問題ではなく、グローバルな問題である。緊急事態に化石燃料に依存するのは止むを得ないが、地球温暖化や枯渇に向かう資源をこれから需要の急増が見込まれる中国やインドなど発展途上国と奪い合いになること必定である (表 1)。

表 1 主要国一人当たりの電力消費量 (2008)

国	電力消費量 (TWh/年)	人口 (百万人)	一人当たり消費 (kWh/年)
USA	4,156(22.3)	304.5	13,648
中国	3,252(17.5)	1,325.6	2,453
日本	1,031(5.5)	127.7	8,073
インド	645(3.5)	1,140	566
世界	18,603(100)	6,688	2,782

(出典 IEA Key World Energy Statistics)

中国は、総電力消費量で日本を上回っているが、一人あたりの消費量では日本の 30% に過ぎない。インドに至っては 7% であり、東南アジアの諸国も同様である。これらの国々は、生活向上を図り、先進国並みの水準になるために、ますます電力を必要としている。皆さん、贅沢は止めましょうとは言えないでしょう。

また、石油は有機合成化学の貴重な原料でもあり、他に代わるものはない。この資源は可採埋蔵量 40 年と言われる中で、後世まで残しておくべきもので、我が世代で燃やし切ってしまう訳には行かない。

更に、電力エネルギーの経済性の問題がある。電気なら何でも良いという訳にはゆかず、高コストは、産業立国としての日本の地位を消滅させる (表 2)。

表 2 発電方式別発電原価

方式	火力	水力	原子力	太陽光	風力
円/kWh	8~13	7~8	5~6	49	10~14

(出典 資源エネルギー庁 エネルギー白書 2010)

このような低炭素社会への思いを込めて「エネルギー基本計画」を策定したはずである。電源のベストミックスを図り、原子力発電先進国としての責任を全うし、更に改善した原子力技術をもって、必要としている諸国を後押しすべきである。

4. むすび

福島県は、このような社会の要請の先兵としての役割を果たしてきたが、現在の状況は悲惨なものである。どうか福島県へのご支援をお願いする次第です。

最後に、この震災で発揮された人々の尊厳ある行動を、同じ日本人として誇りに思います。

(著者：福島県いわき市出身。富士電機製造 (株) 変圧器設計部門等勤務の後、高萩技術士事務所を開設して現在に至る。)

短歌で綴る 東日本大震災

内田 茂 (昭38学電)

平成23年3月11日午後2時半頃、納屋で仕事をしていると地面も建屋も大揺れし、外を見ると一瞬にして道路側の石塀が倒壊した。



13日の新聞で、11日午後2時46分に、震源地は三陸沖でマグニチュード

9、北茨城の震度6強。東北地方で行方不明死者1万人以上、福島原子力発電爆発。北茨城も平潟港や大津港で津波により家の倒壊多数、死者・行方不明5人いることを知る。

我が家は、石塀の崩壊と蔵の壁の崩れがあったが、家族や自宅には被害が無かった。以下は日誌代わりに書き綴った所からの抜粋である。

大地震 (平成23年3月11日~4月9日)

- ・大谷石積み重ねたる石塀ももろく崩れし震度六強
- ・鉄筋の入らぬ石塀一瞬に瓦礫になりし地震の揺れに
- ・大地震車道に飛びし大谷石通りすがりの車直撃
- ・おちこちの壊れし屋根の高きグシ瓦の散乱見るも無残に
- ・雨近し壊れし屋根に被せたるブルーシートの屋根多かりし
- ・毎日の続く余震の頻発に家も大揺れ心も震ふ
(地震直後は数分間隔で、4日以上も余震が続いている)
- ・停電にオール電化は打つ手なし蝋燭ともし冷え込む夜半
- ・どの店もラジオ電池の品切れし地震情報知る術も無し
- ・今日も又水道・電気止まりしに何を食むかと心も重し
- ・校庭にポリ容器手に持ち並び二時間経つても給水できず
- ・スーパーも食糧求む人々の長蛇の列ぞ開店前に
- ・我が庭に焚き火を燃やし飯炊きて幼き時代を孫に語りぬ
- ・断水につるべを作り水を汲む水の溢ふるる古き井戸より
- ・遠方の親戚・友の見舞い電話やと繋がり吾が声に安堵
- ・連日のライフラインのストップに小中学校休校続く
- ・ガソリンを求む車の列長し二千円のみ給油制限
- ・暗闇に懐中電灯灯しつつ家の戸締まり今日も又
- ・耐え忍び四日振りに電灯の灯り明るく家族で万歳
- ・電気来てパソコン見るに友からの見舞いメールに心のみぬ
- ・お墓見ぬ砂地に並ぶ墓石の傾き・倒れ地震に弱し
- ・砂を取り埋め立て宅地の液状化水の噴出傾く家も
- ・福島原発事故のニュース聞き外出禁止と孫の声高し

大地震のその後 (平成23年4月10日)



六角堂は消失し、土台だけが残った

- ・岸壁に春夏秋冬佇ちて觀し六角堂も津波に失せぬ
- ・今も尚埠頭に傾く漁船多し先も見えなし震災復興
- ・津波来て破壊されたる家並みも瓦礫になりて人影もなし
- ・震災後一月経ちぬ。今も尚増し続く死者・行方不明者
- ・眼に見えぬ放射能汚染思ひつつ畑に佇み春菜眺めぬ
- ・震災の無情思ひて庭見れば連翹・水仙の黄花輝く
- ・また余震自然の非情恨みつつ菜の種蒔きぬ自然と共生
- ・地産米避難民に食べさせたしと精米機前に米積む農夫

(平成23年4月12日)

- ・連日の震度六弱の大揺れに心も大揺れ桜の季に
- ・連日の余震余震のまた余震余震終わる日ただ祈のみ
- ・地震だぞ書店の中で逃げ惑ふ数多の客の悲鳴も高し
- ・地響きの余震に揺られ桜観め桜天国・余震の地獄
- ・余震後に急ぎ飛び行く消防車非常サイレン街に響ませ
- ・待望の電車走りぬ窓越しの風光明媚も瓦礫の山に

(平成23年4月17日)

- ・放射能風評被害に耐え忍び農に勤しむ老人の郷
- ・やるせなく農協集ひに来し人の風評被害に心の火群
- ・田園に唸りも高きトラクター原発回復信じうなひぬ
- ・総身に春陽浴びつつアゼシート張りて汗かき心の糧に
- ・「我が想い砕けとばかり地震かな」と

友のメールに心の叫び

- ・冬に耐え生える雑草の根の強し被災地の人も各の如しか
- ・原発の風評被害に負けざらむ水平線に漁船の並ぶ
- ・海の幸運ぶ漁船の音高き浜辺歩みぬ潮の香浴びつつ

(著者：(株)日立製作所多賀工場開発部・OA設計部等で勤務し、定年後北茨城にて農に生きる人生を歩む)

第30回東京支部記念総会 (支部創立30周年記念)

総合司会 森田 徹郎(昭42電学)

東京支部総会は、平成22年10月16日(土)15時から19時過ぎまで、上野精養軒で開催されました。本部副会長の白井俊雄(昭40学電)氏をはじめ、仙台、いわき、日立総合、水戸勝田、栃木県、埼玉、千葉県、静岡、中部、九州の各支部代表の方々をご来賓にお迎えし、女性会員4名を含め出席者総数91名となりました。

ご来賓の方々には遠路はるばるご出席を賜り、まことに有難うございました。



本部白井副会長の祝辞

第1部 総会(15時～16時10分)

上月秀俊(昭36学電)副支部長の開会の辞、三本木武(昭30学電)支部長挨拶、本部の白井副会長の来賓挨拶に続いて、年間行事、同好会活動報告および会計報告が行なわれました。支部長挨拶と出席者リストは次頁に掲載しています。

第2部 講演会(16時15分～17時)

五十嵐喜良(昭47学電)(電波産業会研究開発本部開発センター長)氏による演題「オーロラの魅力」という講演が行なわれました。

2度の南極越冬隊員としての経験等からオーロラの魅力に取りつかれ、高価な観測撮影機材を取得して北極まで出かけ、オーロラを観測したことを映像と合わせて解説されました。オーロラ鑑賞ツアーの紹介もありました。概要は8頁に掲載。

第3部 懇親会(17時10分～19時20分)

地下講演会場(ホール銀杏)から、2階の宴会場に席を移動して開催されました。卒業年度の近い方々毎の円卓を囲み、先輩、後輩の垣根を取り払い大いに飲み、語り合いの場を持つことが出来ました。橋弘(昭38学電)氏のクラリネットに併せて校歌を歌いました。

写真展

写真同好会による写真展が総会会場の壁面を使って行なわれました。写真展での受賞作品もあり、多くの参加者から、そのレベルの高さが賞賛されました。出展リストは25頁に掲載しています。



↑懇親会風景1－懐かしい寮歌熱唱の大先輩



↑懇親会風景2－昔話に花が咲く
(それとも健康に感謝?)



↑懇親会風景3－出席者数で抜群の昭38組



↑懇親会風景4－女子会員が初出席



→会場を飾った写真展、力作多数

第 30 回支部総会に当り

支部長 三本木 武 (昭 30 学金)

本日は東京支部の創立 30 周年創立記念総会に、多賀工業会の臼井敏雄副会長はじめ北は仙台から南は九州まで 10 支部の支部長・役員と東京支部会員を合せ 91 名の方にご出席を賜り、盛大に記念総会が開催できますことを大変嬉しく思います。



特に今回は、長年の懸案だった女子会員 4 名が、初めて総会に出席してくれたことは記念すべきことと言えます。

既に皆さんご存知の通り、2010 年度ノーベル化学賞に鈴木章氏 (北大工学部名誉教授) と根岸英一氏 (米国パデュー大学特別教授) の両氏が受賞しました。これは「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」といって、金属パラジウム触媒として炭素同士を効率よく繋げる画期的

な合成法を編み出し、プラスチックや医薬品などの有機化合物の製造を可能にしたものです。

両先生は、この程度の研究は文科省が予算を計上して科学者の育成をはかれば、一般大学でもノーベル賞受賞者は輩出可能と力説しているのです。大でもぜひ肖 (あやか) りたいものです。

さて、今年の支部活動方針は二つあります。一つは支部にとって総会は最大のイベントですので、これには 100 名以上の出席者をキープしていくこと、もう一つは支部の活動源は年会費の多少に左右されるといわれるので、年会費納入者約 250 名を 300 名以上に増やして財源の安定化をはかることです。

この活動方針を達成させるため先ず、趣味の合った者同士が気楽に参加し易い同好会を中心に、新規会員はもちろん若手会員の増強をはかっていきたいと考えております。

また、第 30 回記念総会を契機に全国の女子会員を纏める「女子会」を多賀工業会本部と東京支部が共同で立ち上げることにしましたので、関係各位の絶大なるご支援とご協力をお願い致します。

最後に臨み多賀工業会並びに各支部の益々のご発展をお祈り申し上げ、併せて本日ご参会の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈願申しあげまして 30 周年記念総会のご挨拶と致します。

総会出席者名簿

<来賓> 11 名

臼井 敏雄 本部副会長 (昭 40 学電)
高萩 隆司 千葉県支部支部長代理 (昭 38 学電)
高橋 伸二 埼玉支部 副支部長 (昭 41 学機)
小室 敏之 水戸勝田支部副支部長 (昭 30 学機)

寒風澤 武 静岡支部 支部長 (昭 41 学機)
佐塚 英高 栃木支部会副支部長 (昭 40 学化)
渡部 晃 仙台支部 支部長 (昭 44 学電)
佐藤 淳一 中部支部 副支部長 (昭 38 学金)
佐藤 博 いわき支部 支部長 (昭 33 学電)
小沼 淳志 日立綜合支部支部長 (昭 41 学化)
宗像 智次 九州支部支部長代理 (昭 39 学機)

<会員> 79 名 + <ゲスト> 1 名

依田 連平 (昭 17 専金) 舛井 祝男 (昭 32 学原)
山本 栄治 (昭 18 専機) 矢野 睦男 (昭 32 学原)
山田 実 (昭 18 専金) 榊原 康夫 (昭 32 学原)
朽本 二郎 (昭 19 専原) 田崎 耕八 (昭 32 学電)
藤田 勲 (昭 19 専原) 高野 久弘 (昭 35 学機)
柳田 裕美 (昭 19 専精) 上月 秀俊 (昭 36 学機)
田島 廣一 (昭 20 専精) 小宅 仁 (昭 36 学電)
明石 和夫 (昭 22 専金) 澤野 孝慈 (昭 37 学機)
飯島 公正 (昭 23 専原) 上田 正雄 (昭 37 学電)
菊地 玲二 (昭 26 専通) 河上 弘一 (昭 38 学機)
高田 丈夫 (昭 28 学機) 小林 一 (昭 38 学機)
斎田 和夫 (昭 28 学機) 駒場 方耀 (昭 38 学機)
柳沢 裕 (昭 28 学原) 長谷川 幸夫 (昭 38 学機)
玉川 信二 (昭 28 学電) 徳江 景英 (昭 38 学機)
成井 浩 (昭 30 学原) 大竹 充 (昭 38 学電)
鈴木 日出男 (昭 30 学原) 兼子 八郎 (昭 38 学電)
三本木 武 (昭 30 学金) 小林 渡 (昭 38 学電)
瀬在 城雄 (昭 31 学原) 田川 政行 (昭 38 学電)
山崎 慎一郎 (昭 31 学原) 熊谷 文男 (昭 38 学電)
國井 榮次 (昭 32 学機) 坂野 栄 (昭 38 学電)
溝口 知昭 (昭 32 学機) 高萩 隆司 (昭 38 学電)

橘 弘 (昭 38 学電) 山田 恵規 (昭 42 学電)
寺内 賢一 (昭 38 学電) 小澤 茂 (昭 43 学子)
広瀬 行一 (昭 38 学電) 鴨志田三千男 (昭 43 学子)
海老原 雄二 (昭 38 学金) 石川 久 (昭 44 学子)
大塚 進 (昭 38 学化) 藤枝 伸一 (昭 45 学子)
小田倉 勝夫 (昭 38 学化) 飯塚 英一 (昭 46 学電)
小池 利彦 (昭 38 学化) 堀口 正治 (昭 46 院子)
白石 道彦 (昭 38 学化) 五十嵐 喜良 (昭 47 学子)
高木 二郎 (昭 38 学化) 長野 利英 (昭 47 学子)
矢部 功一 (昭 38 学化) 松田 秀雄 (昭 49 院子)
矢嶋 國男 (昭 38 学精) 松田 実 (昭 50 学子)
佐川 六郎 (昭 39 学機) 太田 悦子 (昭 60 学電)
三好 成實 (昭 39 学機) 銭場 礼子 (昭 61 学化)
原 俊彦 (昭 39 学電) 鈴木 葉子 (昭 62 学化)
田中 栄太郎 (昭 40 学化) 二川 克美 (昭 63 院情)
森 俊和 (昭 40 学化) 山本 夏江 (平 10 学機)
大泉 雅靖 (昭 40 学精)
青野 潔 (昭 41 学化)
小森 廣樹 (昭 42 学機)
森田 徹郎 (昭 42 学電)
八重樫 春美 (昭 42 学電)

ゲスト 「平 12 院
理学部自然機能科
乾 智彦 氏」

第30回総会講演会概要

オーロラの魅力

報告者 松田 秀雄 (昭49院子)

講師：五十嵐 喜良 (昭47学子) 氏

社団法人 電波産業会 研究開発本部 次長、
開発センター長

学位：博士 (情報学)

趣味：卓球、写真

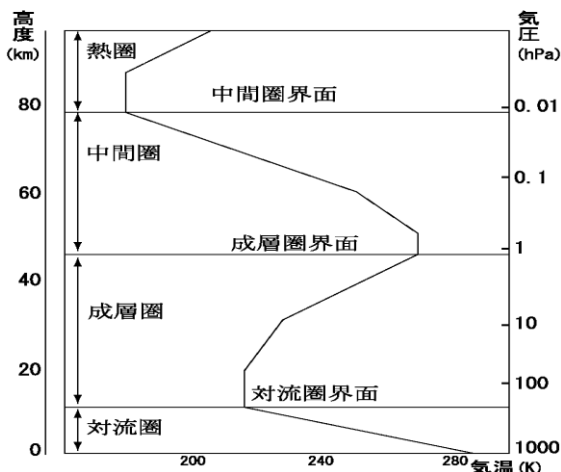
概要

講師が郵政省電波研究所員として取り組んだオーロラの電波観測およびアラスカ大学等と共同で実施した北極圏の超高層大気観測等について紹介された。1950年代後半の南極の昭和基地開設当初のオーロラ映像から最新の観測装置による映像まで含めての紹介で非常に興味深い講演となった。



1. はじめに

オーロラは上空 100 km から 500 km の熱圏と呼ばれる領域に現れる発光現象である。南極には、宙空圏、気水圏、地圏、生物圏等、広範な観測事象があるが、講師は通信分野が研究対象であり観測した大気圏、主に電離圏について説明した。



大気平均鉛直分布

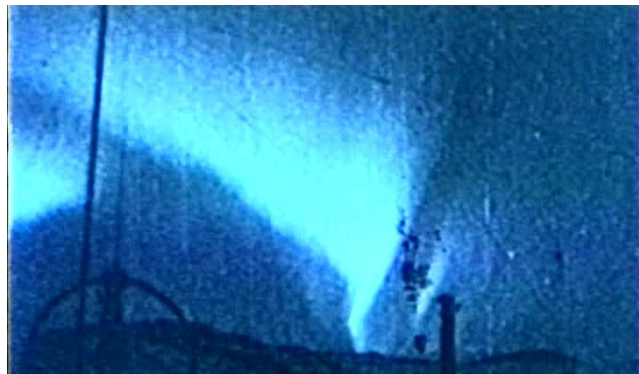
(出展：http://www.meteoffice.info/1analysis_folder/pages_neturikigaku_folder/302_folder/312.htm)

2. 最初の南極観測：1978年

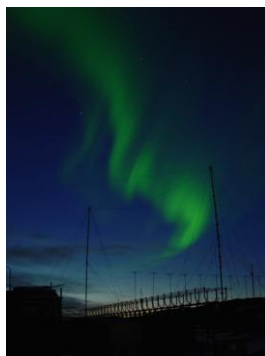
最初に講師が越冬する前の、第3次隊が記録した映像が紹介され、その中にはタロとジロの姿も捉えられていて大変興味深いもので、さらには、第4次、8次、12次越冬隊のオーロラ映像も併せ紹介された。

講師が参加した第19次越冬隊のロケットによるオーロラ観測の映像、30mの電離圏観測用デルタアンテナの建設コマ落とし映像が紹介された。2001年の112MHz新型オーロラレーダによる電

波オーロラエコーの観測結果も紹介された。



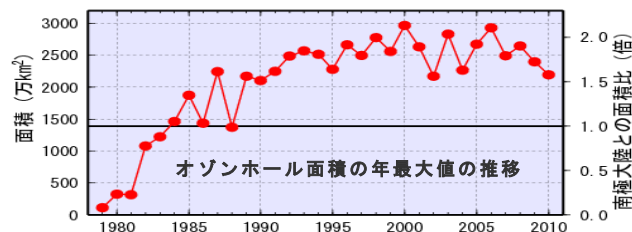
↑ 第3次隊記録映像
'タロ、ジロも見た
南極のオーロラ'



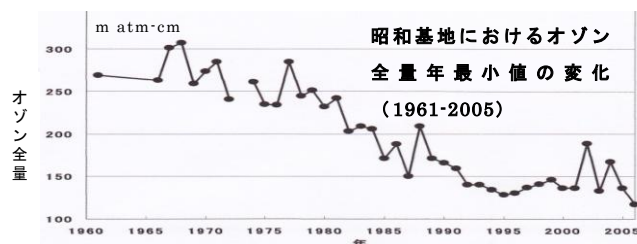
←112MHzオーロラレーダの
アレイアンテナにかかるオーロラ

3. 2回めの南極観測： 1982年

第23次越冬隊の時に昭和基地でオゾン全量の急激な減少を観測した。イギリスからも同様な報告がなされ、その後この現象がオゾンホールと呼ばれ、地球規模の環境変化としてクローズアップされることとなった。



(出典：http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/ozonehp/link_hole_areamax.html)



(出典：http://www.jma.go.jp/jma/press/0610/05a/ozon_ehole0610.pdf#search)

4. アラスカでのオーロラ観測

日米共同研究「アラスカ大学地球物理研究所との中層大気国際共同研究」でアラスカに出張しての、研究・観測結果について紹介があった。

5. むすび

最後に、2009年のオーロラのビデオ映像、究極の観光地である南極・北極ツアーやアラスカ・カナダ・北欧へのオーロラ鑑賞ツアーについて紹介があり、ハイレベルながら有意義な講演だったと思います。

女子会設立提案の契機

幹事長 広瀬 行一（昭 38 学電）

提案の契機は、平成 16 年 11 月の定例幹事会における山本栄治先生（昭 18 専機）の「同窓の集い」の熱い講話です。

多賀工業会の活動は、殆ど男性のみのボランティアで、幹事たちも女性にもっと積極的に加入してもらおうといった発想はありませんでした。

山本先生は将来の同窓会のあるべき姿を示され、「女性はいつも出番を待っている」、「母校が OB に期待するものは何か?」、「人脈の広がりが大切」と、女性の参画が大切であると力説されました。

あれから 7 年が経ちましたが、東京支部設立 30 周年を迎え、支部記念事業として本部と一緒に女子会設立を具体的に推進しました。

支部幹事全員が一致団結して実行した女子会設立は、母校の隆昌に寄与し、多賀工業会の歴史に残る快挙と確信しています。

今後も、東京支部への御指導を御願ひ致します。

女子会ホームページ 誕生の秘話

小澤 茂（昭 43 学子）

1. 女性名簿の作成

廣瀬幹事長が卒業生名簿から女性らしい名前を抜粋した「女性である可能性大の人抽出」リストを基に、67 名に支部活動への協力を要請した封書を郵送したところ、同封した葉書を投函してくれた人：8 名(12%)、転出先不明：19 名(28%)、無視：39 名(58%)となりました。

女性の場合は、結婚等で転出先不明者が多く、卒業生名簿の作成すら嫌がる傾向が強いのに驚きました。

2. 1 割が女子学生

一方、本部小林幹事長の記事で工学部の女子学生は 202 名(10%)となった現実を知り、多賀工業会の将来を考えると女性の参画がポイントになると考え、女子会設立の重要性を訴え、本部と東京支部が協力して事業を推進する事になりました。

3. 女子リーダー陣の活躍

幸いにも、葉書を投函してくれた女性陣は全員が積極的で、本部との懇談会や支部懇親会にも参加して女性ならではのアドバイスをくれ、後輩学生のお悩み相談にも快く協力を申し出てくれました。

女性陣からは、独自の視点から

- 1) 結婚や生活の変化で、住所・職業が変わり、卒業当時の情報では対応できない
- 2) プライバシーの保護
- 3) 女性が参加しやすい活動内容
- 4) 新しい卒業生に対し会の認知度を上げる

が指摘され、ネット上の仮想工学部女子会開設を要請されました。

4. ホームページの基本構想

女性陣の希望に沿って

- 1) 個人情報保護し、
- 2) 卒業生と現役女子学生も自由にコミュニケーションが取れる

ホームページ開設を狙い、パソコンソフトに詳しい企業の専門家を尋ねて新システム構想への指導を請い、外注経費を抑えて望みのシステム構築をする方法を探しました。

5. ホームページの構成

然るに、無償の掲示板は広告が多くて見苦しい画面になるので、現役学生には不適切と考え

- 1) 自分のサーバーを使用し、
- 2) 掲示板のデザインは、著作権だけを購入して採用する

スッキリした美しい掲示板にしました。

6. 試行錯誤の師走

ソフトに弱いので、会員専用ボタンをクリックして「パスワード付リンクを貼るブログ」は、どんな作業をすればトップページに繋がるかが判らず、東戸塚のパソコン教室に 2 日間通って問題を先生に聞いても適切な答えを貰えず、自分の能力不足を嘆いた苦しい時期でした。

リンク作業で試行錯誤を繰り返しているうちに、トップページが壊れてしまい、幾度もサイトを作り直し、惨めな思いをしました。

7. システムの動作確認

どうにかホームページが完成した後は、女性陣のパソコンから本当にアクセスできるかが心配でした。テスト投稿を御願ひし、掲示板が正常に見られると判った時は、安易に約束した納期が守れた安堵感で、嬉しい正月になりました。

インターネットに登録し、「GIRLS' CAMPUS」の画面が現れた時は、多賀工業会の「女子会」が世界に認知されたと感じ、興奮しました。

8. 今後の夢

多くの女性会員と女子学生が活用し、相互信頼の輪が広まり、多賀工業会に爽やかな風が吹くのを期待しています。

平成22年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：円)

費目	22年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	600,000	564,000	-36,000	282口(206名)
本部援助金	221,200	221,200	0	毎年3%減、
総会費	1,000,000	880,000	-120,000	来賓11名+会員79名
広告料	65,000	60,000	-5,000	4件(1件前年分)
寄付・利息	20,000	77,578	57,578	6名
当年収入計	1,906,200	1,802,778	-103,422	
前年度繰越金	1,115,077	1,115,077	0	
合計	3,021,277	2,917,855	-103,422	

支出の部

総会費	900,000	780,691	-119,309	100名の予定が90名出席
総会場・懇親会費		709,000		
その他諸費用		71,691		
会報費	600,000	542,772	-57,228	
会報諸印刷費		380,100		1,300部発行
会報配送費		85,680		発送部数1,071部クロネコ便
編集雑費		76,992		
会議費	50,000	102,735	52,735	定例幹事会4回・女子部創設準備会議
交通費	150,000	149,090	-910	
本部・支部総会参加交通費		62,770		本部・9支部総会への参加
一般交通費		86,320		本部との打ち合わせ・幹事会他
交流費	300,000	342,873	42,873	
本部・支部総会参加会費		100,000		9支部総会への参加+1支部へ祝儀
同好会援助		120,000		ゴルフ、山遊、ダンス、囲碁、写真、他
雑費		122,873		女子部ホームページ創設・更新料・通信費
当年支出合計	2,000,000	1,918,161	-81,839	
次年度への繰越金	1,021,277	999,694	-21,583	三菱東京UFJ銀行968,575 郵便局3,150 現金27,969
合計	3,021,277	2,917,855	-103,422	

以上の通り報告致します。

会計幹事

上月 秀俊

㊟

平成23年 4月15日

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

監事

小林 一

㊟

平成23年 4月15日

監事

小澤 茂

㊟

平成23年度多賀工業会東京支部予算

収入の部

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：円)

費目	23年度予算	前年実績比	摘要
年会費	600,000	36,000	年会費2,000×300名目標
本部援助金	214,500	-6,700	前年実績比3%減
総会費	1,100,000	220,000	会費10,000×110名目標
広告料	60,000	0	4件目標
寄付・利息	-	-77,578	
当年収入計	1,974,500	171,722	
前年度繰越金	999,694	-115,383	
合計	2,974,194	56,339	

支出の部

総会費	1,100,000	319,309	
会報費	600,000	57,228	A4版28頁：1,300部印刷
会議費	100,000	-2,735	
交通費	180,000	30,910	10支部総会へ参加
交流費	300,000	-42,873	全上 ・ 4同好会援助費
当年支出計	2,280,000	361,839	
次年度繰越金	694,194	-305,500	
合計	2,974,194	56,339	

往時茫々

飯島 公正 (昭 23 専原)

◇ 第五高炉復旧本部

「機械科 6 期」の S 氏に従って高炉に登る。眼下の大草原に点々と第三国人の「ドブロク」の密造所が見えて、S 氏はしきりに憤慨する。



◇ 初めての川崎訪問

「昭和 22 年夏、川崎の本事務所に多賀の先輩を探してもらったら、所用で近くにいたらしい「金属 3 期」の H 氏が現れ、「明日ゆっくり観せるから」と総持寺近くの独身寮へ。寮は武骨な復員兵ばかりでした。

◇ 入所式等

本給 1,500 円也。旧式薄板工場に配属される。「操炉・圧延」は「特 A」区分の苛酷な現場で、翌日から「圧延」の実習。事務所では私が最年少で歓迎されました。

◇ メーデー参加

直ぐにメーデーが近づき「流れ解散」としきりに構内放送。当日、伊勢佐木町を進むと横浜にはこんなに大勢の警察官がいるのかと驚くばかり。アメリカ陸軍の駐屯地の門前で「歩兵砲」の演習（旧帝国陸軍の大隊砲？）。長者町五丁目の交差点では「アッ」と言う間の流れ解散でした。

◇ “初の鉄鋼民間貿易はじまる”

業界新聞に「K 商店扱い F 国 Y 商会向け U.S.Gage#26 亜鉛鍍金鋼板 F O B 200\$/t と花々しく紹介され、生産が始まりました。Y 商会の検査員は「曲げ試験」の「テストピース」を我らが敬愛する課長の頬ぺたにこすりつけるような傲岸不遜な男でした。

◇ 手製煙草の立売り

各駅で前掛姿の主婦達が内職の「手製煙草」を売りに立ち並んでいました。

◇ 電車内での落花狼藉

鶴見小野駅近くに駐屯するアメリカ兵と乗り合わせるので夜勤に行く電車内は憂鬱。多くは大人しいのだが横浜関内の余韻さめやらぬ若い兵は、フィギャスケート靴型のきれいな軍靴で、車両間の仕切りを大きな音を立てて蹴上げる！（当時アメリカ兵の給料は手当分で 180\$位らしかった。）

昭和 25 年 桜木町駅手前の高架上で車両火災があり、「戦時六三型」の「車両間の貫通路なし」と「三段窓」に阻まれて、所幹部の奥

様方をはじめ多くの犠牲者がでました。昭和 26 年には湘南電車の運行が始まりました。

◇ 初更時電力制限

秋になって夕刻 2 時間の制限があり、圧延の実質被害は 2 時間半に及びました。

（编者注・初更：現在の 19:00～21:00 頃、一夜を五分した最初の時刻で戌の刻、初夜、甲夜などとも言う。）

◇ H 大学から水泳選手入社

昭和 26 年故古橋さんのグループの H 選手が入社し、本社営業部の T 主任が工場見学に連れてきて、私が彼を案内しました。T 主任は「毎朝女子の分も含めて雑巾がけをさせている」とのことでした。

◇ 飲み屋さんの引っ越しで幼稚な質問

操炉の常勤組長氏は JR 鶴見駅東口に葦簾張りの一杯飲み屋を持っていました。やがてこの一帯の区画整理があり、京急鶴見駅から 100m も離れた所に木造のお店を只(?)で頂き引っ越しました。昔からの不動産のルールによるものなのでしょう。「不便になってお客さんが来ないのではありませんか？」と幼稚な質問をしたら、「君・・・お店は女性(オンナ)次第だよ」と。

◇ アメリカ兵の復員列車

花月園前の踏切で「海側の貨物線」を緩やかな速度で横浜港貨物駅に向かうアメリカ兵の復員列車が通る。多分当時は蒸気機関車だったか。1 列車に 1 人か 2 人はデッキの山側に立って再び来ることのない日本の景色を眺めている。お互い見知らぬ者同士だが、手を振るとどの兵も必ず手を振って応える。

◇ N 国旗事件

昭和 20 年代後半になると四圍の環境もめまぐるしく変わり、33 年旧式厚板工場担当となりました。係長から「本件一切他言無用」として C 国 S 港及び T 港向け S B 42 B-S R 等大量な輸出品の生産が緊張の内に始まりました。5 月に入り九州 N 市の国旗事件が険悪化し、遂に契約は先方から打切られ、生産中止の手荒い終結となりました。

著者プロフィール

職歴：

昭 23 年 日本鋼管(株) 鶴見製鉄所入社

昭 59 年 同社退社

五十精機(株) 入社

4 年間勤務の後 各種アルバイト

平 05 年 アルバイト終了

趣味：スポーツ

(下手の横好き) 老人乗馬

日本馬術連盟—東京都馬術連盟会員
騎乗者区分—「B 級」

残軀妄言 (ざんくもうげん)

小波 俊文朗 (昭 36 学機)

ペナンに遊ぶ

伊達正宗の漢詩の一節「残軀天所赦 不樂是如何」の解釈の一つ、「残軀は天の赦す所、これを楽しまずして是如何」の境地でマレーシアのペナンに長期滞在の旅にでた。ペナンは常夏の地である。朝食はゆっくりとホテルバイキング、椰子の木陰での読書に飽きればプールに飛び込み、時に異国情緒の街中に遊ぶ。また、滞在先の日本人の友、数カップルが集ってのディナーは旅の楽しみの一つである。その宴席で、滞在費節減のノウハウに話が弾み、色々と工夫があるものと感心して聞いていたが、国民健保の合法的不払い法を披露する方がいる。合法的であれ、健保の財源難・相互扶助の立法精神に立脚すれば、海外旅行を楽しむ余裕人としての智的モラルの低さは否めない。けれども、この方の人づき合いに表れる情のモラルは高く、そのアンバランスに戸惑い、情と智のモラルを考える機縁となった。ここで、情は「物事に感じて起こる心の動き、思いやりの心」、智は「物事を理解し、是非・善悪を分別・判断・認識する心の作用(広辞苑)」である。ともあれ、厳寒時の日本を逃れての二ヶ月の旅はまさに天国である。これが病みつきとなり、数回ペナンに旅し、「楽しまずして是如何」の生活を続けてきた。

不樂是如何

しかし、年を経るにつれ、漢詩のもう一方の解釈「楽しくないのは是如何」と言わしめる何かを感じるのである。そのような折り、産経新聞記事、曾野綾子の「透明な歳月の光」が目にとまった。「過保護行政が、働かずとも最後には国が生活を保護してくれると若者が考えるような、怠惰で活力のない日本人にしている」をモチーフとした智の論理で、「リックを背負い山野を歩ける体力があっても遊んで暮らせばよいと云うのは怠け者の考えで、人間は能力に応じて死ぬまで働くのが義務」とある。現役時の短い家族旅行のように、心から輝く楽しさは、怠け者に得られないのは当然なのであろう。余生を趣味に生きるだけが人の幸せとは必ずしも言い得ない。能力に応じて死ぬ日まで



働くのは「義務」と云うより「幸せの根源」で、それを可能にするシステムがユートピアに繋がるのである。

智と情のモラル

「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される(草枕)」は云い得て妙である。私生活において、多少複雑な事象に人間関係が絡めば、この智・情の整合性の良否が賢と愚を弁別する。国政においては、長期的、広域的視野で、安全保障、外交問題、危機管理、内政の長期的課題(少子高齢化、社会保障)等に対処する智が重要であり、智と情における智の比重が地方行政よりも大きい。沖縄県民への情に流れ、グローバルな平和維持機構に関する智が全く存在しない「沖縄基地の海外、少なくとも県外移転」は民主党政権の愚を天下に暴露し、鳩山元首相は外国メディアで loopy と嘲笑された。このような智なき政権を誕生させた国民の智的モラルの低さを慨嘆していた折りも折り、世界最大級の震災に襲われた。

東日本の太平洋側全域の惨状が明らかになるにつれ、被災地救援へ全国民の連携感が高まり、国を挙げての救援・支援活動が開始されている。この緊急事態に対処する智は簡明で情と背反せず、美質である日本の情的モラルにもとづく活動が遺憾無く発揮されている。危険な職務に携わり、これを全うしている自衛官、警察官、消防士、民間人の士気・使命感も情のモラルがその根源である。震災三週間を過ぎた今も、原発事故は予断を許さぬ状態にあるが、被災地・その周辺の社会秩序と助け合いの様相に諸外国が瞠目するほどの高い情的モラルの日本である、この危機は必ず克服されると信じ、祈るのみである。災害復旧には少なくとも数年を要するが、その足掛りを得れば、智のモラルの比重が情との対比において大きくなる。明治維新の近代化と敗戦からの復興につぐ奇跡—この震災からの大復興の実現には、高い智の識見、情・智の整合能力に富む賢人政治家の輩出が不可欠である。我々の子孫に遺すべき、よき日本を想い、国民の智的モラルの覚醒を祈念する以外に白髪残軀になすすべがないのを残念に思う。

著者プロフィール

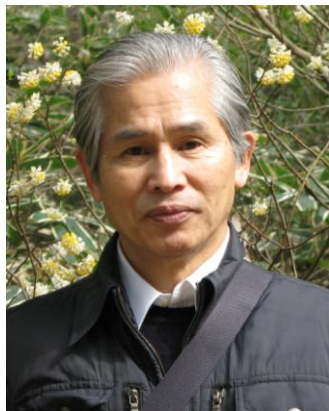
KYB(株)、明治大学大学院(修)を経て
1965年防衛大学校に勤務、油圧制御の研究に従事。1986年教授、2003年定年退官。防衛大学校名誉教授、工学博士。

ISO 審査活動 10年

小田倉 勝夫 (昭 38 学化)

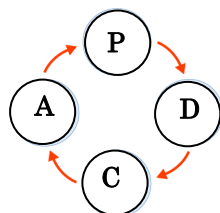
1、はじめに

東京支部会報編集室から、ISO について一文を書くようにというご指示があったのですが、どのような事を書くのが良いのか迷いつつ、あまり筆が進みませんでした。ISO は国際標準化機構のことで、環境マネジメントシステムである ISO 14001 に絞って、その位地づけ、機能・役割、存在意義等について書いていきたいと思っております (この他に品質 ISO 9001 もありますがここでは触れないことにいたします)。この結果、ISO に関して皆様のご理解の一助になれば望外の喜びです。



2、環境 ISO 規格 14001

ISO 14001 は、民間の国際組織である国際標準化機構 (ISO、本部 スイス) が定めた ISO 14000 シリーズの中核となる規格です。環境マネジメントシステムの仕様を定めた規格で客観的に監査し得る要求事項だけを含み、1996 年 9 月に発行されました。環境マネジメントシステムの基本構造は、PDCA サイクルです。



- (1) 方針・計画 (PLAN)
- (2) 実施運用 (DO)
- (3) 点検及び是正処置 (CHECK)

- (4) 経営層による見直し (ACTION)

の 4 つのプロセスを繰り返して実施して、システムを継続的に改善します。環境マネジメントシステムを構築すると、審査登録機関から第三者認証を受けることができます。日本適合性認定機関によると 2011.3.1 現在、2 万 182 件が審査登録済であるとのこと。かなりの数と言えます。

3、位置付け

更に ISO 14001 の位置付けを確認してみます。

- (1) ISO 14001 は法律ではなく、民間の任意規格です。従って、それ自体には強制力はなく、規格に準拠するかどうかは組織の自主的な判断に任されています。
- (2) 環境負荷を低減していくための仕組みについてのシステム規格です。
- (3) あらゆる組織に適用出来、組織の活動、製品

及びサービスの全てがマネジメントの対象になります。規格の中には事故、緊急事態に対するリスクマネジメントについても要求事項があり、今回の大震災を思う時、重要な規格であると思います。

4、審査員の立場から

一方、審査員の立場から述べるならば、審査員は常に良質な情報によって、社会の流れ、環境技術の動向等の学習を心掛ける必要があります。大切なことは、判断基準です。最後は審査員の価値感になると思いますが、私の場合、指摘することが

- (1) 組織 (会社等) の利益になるか、
 - (2) 環境改善上の利益があるか、
 - (3) 審査機関にも利益をもたらすか
- ということをあれこれ斟酌して判断することにしています。

これら三つの利益が得られないと審査システムは継続することが出来ないと思います。

ISO のシステムは論理的に構成されており、優れていると思います。しかし、ISO システムを導入すれば、環境が改善され、品質が良くなるかというそれだけでは不足です。ISO システムと組織の固有技術が相まってはじめて成果を出すものと考えます。



5、おわりに

私は約 10 年間で大雑把に数えて 500 回ぐらいの審査を行ってきました。この制度も成熟の段階にあると考えます。日本を含めた世界で多くの社会システムの中の一つのシステムとして、今後の外部の社会情勢に対応しつつ発展するものと考えています。目指すところは、循環型社会形成推進基本法 (2000 年、環境基本法の理念にのっとり制定された) でもイメージされている低炭素社会、自然共生社会、循環型社会の実現であると思います。

最後に、日立市をはじめ、この度の東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

著者プロフィール

1963 年 事務機製造会社入社
1999 年 事務機製造会社を退職
ISO 審査登録機関で環境審査員として、審査活動開始
2001 年 ~2005 年 同 環境審査室室長
現在、環境、品質及び労安審査員として活動中

定年してからが本当の仕事

安藤 雅 (昭44学電)

◇ プロローグ

定年してからの私達に与えられる時間は、小学校～大学までの就学期間よりも多く有ります。やりたい事を決めてしっかり取り組む、これからが本当の自分の人生とと思っています。

定年前に、これからしよう、と思うことを2つに絞りました。マジックと絵(洋画)です。それ以外は我慢と決めました。あれもこれも無理だからです。登山、ハム(一級)、ヨット(国際レース・ケンウッドカップに参戦)、2足歩行ロボットの制作、茶道(裏千家、宗雅)、フルート(地域のオケに所属)、ゴルフ(元KGA7)、…、止めるか休止にしました。

♣ そもそもと準備

マジックは40歳頃から本気で始めました。あるクラブで見たマジシャンの演技に魅了されて、その師匠を紹介



してもらって弟子入りしました。当時の受講仲間の何人もが、いまや売れっ子マジシャンになっていて、それが私のマジシャンとしての活動に幅を持たせてくれています。当面カードマジックに絞って修行しました。会社の中にマジッククラブを立ち上げ、その活動は私が会社を出た後の今も続いていて、もう25年になります。活動は当初社内の方が対象で、そのうちに社外にも広がり、一時は50人近くが集まって講習する時期もありました。この活動は日経、朝日、読売新聞などで紹介されました。また、「ザ・マジック」という専門誌に記事の連載もしていました。マジックは仕事でも役に立ちました。海外を担当した頃、客先でまず始めにマジックをすると、皆さんに覚えてもらえます。引継ぎの時など、次に訪問した時には受付以下、若い人達も親しく挨拶をしてくれます。前任者からは、どうなってるんだ、と驚かれました。仕事先の幹部がマジックに興味を示されて、よく披露しましたが、幹部同士が仲良くしている環境は担当者の仕事をやり易くしていたと思います。

次に絵です。絵は昔から好きでしたが、定年前に美大予備校の美術学校に通いました。1年間、デッサンを受講して、ある程度つじつまの合った絵を描けるようになりました。それから幾度かの展覧会への出展などを経て、大御所の先生に付く事ができました。

♥ 現在の活動

マジックは頭と指先を使います。これは老化防止にもってこいです。皆さんが今から一念発起してピアノか、バイオリンを始めたとします。一生懸命さらった曲をステージの上で、或いはサロンで、お客様の前で演奏出来るのはいつのことでしょう。マジックは、今日教わって覚えれば、明日からあなたはスターです。この年齢で始めたい人が大勢いる所以です。マジックをすれば人々の注目を浴びる事は間違いありません。私は今、マジックの教室を4つ持っています。結婚式、会社の行事、校友会、小さな集まり等で出張マジックを仕事としてやっています。

絵について。今年の4月には「上野の森美術館・大賞展」に、6月には国立新美術館の日洋展にそれぞれ100号の油絵を出展しました。

公募展に出展したり、銀座で個展を開いたり、毎年春秋には、京橋の画廊で「日立OB美術会展」という会(会長、山本衛(昭23教機)氏)に出展しています。この会は、会場でワインのサービスや、演奏会も行われ、元気なOB約120名の楽しい会です。1週間の会期中に1500名もの来客があって、周りの画廊は日立は凄い、と絵をほめる前に集客力に驚いています。



現在は職業団体の(社)日本美術家連盟、(社)日洋会に所属して、上記の展覧会への出展のほか、絵の教室などを担当しています。

♣ 生きがいとその応援

マジックは手が器用でなくては駄目だろう、という人がいます。答えは「ブー」です。目にもとまらぬ早業で、というような時にはあらかたするべき事は済んでいるのがこの世界です。

意外に気が付かれていませんが、頭は使います。だから老化防止に良いのです。マジック教室では、テレビや、銀座のクラブ等で目にし、体験するマジックと同じ内容を講習します。知的で芸術的、喜ばれて注目を浴びる、こういうマジックは教わらないと、覚えられないマジックなのです。

人生を豊かにするために、絵をお勧めします。日立OB美術会・会員の平均年齢は77歳、最長老は93歳です。88歳で名誉会員になります。名誉会員は会費が免除になるので、その歳以下にすると対象者が多くて、会の運営が厳しくなります。絵描きは若くして亡くなるか長生きするかに分れているようです。皆さんが絵を始めれば、長生きの選択肢きり残っていません。

如何ですか、絵を描いてみませんか。

この2つならお手伝い出来る、と思っています。

元気がいちばん

銭場 礼子（昭 61 工化）

2010 年夏、多賀工業会東京支部内に女子会を発足する準備が始まっていると、自宅にお手紙、お電話を頂戴しました。私は、週に 4、5 日短時間労働をするパートで収入を得、家計に入れていきます。名刺も持っていません。とても大学の同窓会に足を運ぶ立場ではないと、欠席に印をつけ葉書を出しました。葉書には、少しでも私の思いを添えて。

「工学部卒業したのに…と、時々落ち込む私に、茨城大学理学部卒の夫が、『大学で何を勉強したかではなく、学ぶために培った思考、物の見方をどう仕事の中で生かすか。どんな職種でも、自分にしかできないことを見出せ』と、言ってくれる。」

すると、幹事の方から、工学部女子学生の多様な働き方の一つになるのではと、再度声をかけていただき、同窓会への一步を踏み出しました。そこで、少しでも、とある女子卒業生の現状とそこに至るまでの想いを聴いていただけたらと思います。

プール監視員

私の仕事は、公営温水プールの監視員です。水上安全法資格取得者のもと、お客様が安全に利用していただくように活動します。遊泳中に事故がないように監視するのはもちろん、利用方法の案内、更衣室・シャワー室などを見回り、気持ちよく使っていただけるよう点検するのも仕事です。

目は見開き、周辺視野を広げます。耳は、いつもと違う音、声がしないかアンテナを張り巡らします。鼻は、異臭がしないか利かせます。集中力が肝心なので、四か所のポジションは 25 分交代。2 時間のうち 25 分の休憩で少しほっとします。また、1 時間に一度のプールの遊泳休憩中には、交代でスタッフが水底の確認で泳ぎます。限られた時間で、隅々まで点検確認するので、泳力も必要となります。

仕事仲間のほとんどが、わが子と同年代の私大生で他に数名の主婦。学生は体力あり、主婦は人生経験豊かに心配りと、バランス取れた元気の出る職場です。

震災にあって

3 月 11 日、震災の日、私は勤務中。大きな揺れでプールの水がプールサイドにあふれ、身動きできなくなっている人たちを、屋外に避難誘導。大きな怪我もなく、帰宅していただきました。私は、これまでで一番自分の仕事の達成感を覚えました。

しかしながら残念なことに、震災後プール休業中、パートということで一時的に休職になってしまい、雇用の不安定さを痛感しました。

今の思い

男女雇用機会均等法一期生として、入社したものの遠方の恋人と結婚するために、退職。均等法一期生なのに、後に続く女子学生に申し訳ないと思いました。工学部時代の女性友人の中には、卒業から現在まで現役で頑張っている友人が数名います。その一方、子供が幼児期に遠方への出張が多く転職を選んだ友人、何らかの理由で専業主婦を選んだ友人。選択した道はそれぞれ違っても、大学入学以来、約 30 年交流は続き、再開の度、理系女性のパワーを感じます。企業に勤める友人の話を見ると、社会から取り残されていると思う時もありますし、雇用継続という点では大変不安定です。ただ、今現在は、私はパートの働き方でよかったと思っています。なぜなら、実家日立での実父の看病・看取り、同時期の家族の入院・闘病にも思う存分時間を使えましたから。そして、震災後、避難に不安を抱く足の不自由な娘のために、退勤時間を調整できますから。

後輩たちへ

女性が、正社員として働き続けるために、法制度も以前より確立されてきているでしょう。法だけでは、解決しきれないことも多々あるでしょう。それでも、諦めず頑張って貰えればとおもいます。結果、どんな雇用形態でも、専業主婦でも、元気がいちばんですよ！



著者プロフィール

1983 年 日立第一高等学校卒
1986 年 工業化学科（長坂研）卒
1989 年 化学会社退社
2006 年 プール監視員始める

Society of Women Engineers

参加報告

山本 夏江 (平 10 学機)

この度、多賀工業会東京支部において女性部を立ち上げようという声がかきたことをきっかけに、卒業女子学生がどのような活動をしているかという一例を紹介させて頂くことになりました。女性には様々な選択肢があります。私が紹介するのはその1つとして捉えて頂ければ幸いです。

SWE : Society of Women Engineers

私は、米海軍横須賀基地で働いており、日本から同じ部隊で働く女性で原子力工学を専門に学んできた中佐と一緒に「SWE10 Conference」へ参加することになりました。SWEを日本語にすると「女性技術者協会」とでもなりますでしょうか？SWEは、1950年に設立され、今年で60周年という記念会議をフロリダ州のオランドで開催、日本人の一般参加は私だけのようで、SWEと姉妹提携をしているJ-WINがSWEのインターナショナルとしてブースを設け紹介されていました。皆さんの職場で一緒に活躍する女性もいます。日本企業でも積極的に参加しようという姿が見えます。

会議概要

米海軍としての参加目的は、主に求人です。それとは別に、私を派遣した理由は、恐らく在日米軍関係者に対し日米友好、女性起用のアピールでもあると思います。SWEの会議は、社会人向け、就職希望の学生向けとして構成されています。社会人向けとは言え、様々な分野の技術者が集まっているので、技術的な講演でも専門分野を深く突き詰めたものではなく、だれでもなじめる様な内容になっており、英語が苦手な私でもついてゆける内容でした。印象に残ったのは、未来のエネルギーについて、アメリカの大手重工会社の女性技術系役員によるパネルディスカッションが面白くアメリカ政府の方針、日本では見ない取り巻きのアメリカ企業の本音がチラッと見えた感じでした。就職活動向けとしては、ワークショップを通して、具体的な仕事の例を実際にやってみるような構成のものがありました。

女性への配慮

ほとんどの参加者が女性ということもあり、様々な女性向けサービスがありました。例えば、

ネールサービス、子供を預かるサービスなど通常の学会ではありえないサービスが存在しています。当然女性が多いので、男性トイレが女性専用になっていたり、学会が資金集めをするTシャツなど子供のサイズが必ず用意されています。講義の内容も女性が抱える子育ての問題であるとか、家庭との両立をどうこなしていくか？など生活に触れる内容も多くあります。女性の社会地位向上を目指すネットワーク作りだけに限らず、生活から考えるということも取り入れていました。

感想

今日の日本において、このような産、学、官を含めた女性技術者団体が主催する大規模な会議は恐らくないと思われます。もし、日本で開催される時があるならば、まだ先の話になるでしょう。驚いたのが、アジアからアメリカの大学に留学している学生のレベルの高さです。僅か数年の留学経験なのに、ネイティブのような英語で質問してきます。残念なのは、そのアジアに日本人が1人もいないことです。日本において、理科系で学ぶ女性の数も昔から比べたら増加し、より多くの学生が研究者、技術者、管理職へと進んでいます。しかし、まだまだ開拓しなくてはいけない世界だと私は、思います。その為には、女性だけがかかるのではなく、女性をうけ入れる男性の変化も必要なのではないでしょうか？「ウーマンエコノミー」なる言葉が近頃出てきましたが、女性が以前から訴えていたことにやっと男性が耳を傾けたようにも私には見えます。



著者プロフィール

2000年4月 北陸先端科学技術大学院大学
知識科学研究科 修了
現在 米海軍 勤務

九州支部の紹介

幹事長 宗像 智次(昭 39 学機)

多賀工業会九州支部は平成 2 年 5 月 19 日に 13 番目の支部として設立されました。九州地区への卒業生就職が鉄鋼業 (& 重工業) 中心から多岐の産業に亘り、九州全域に及ぶようになり、同窓会への関心の薄さも含めて、九州支部としての機能を持って運営することは困難になってきました。支部総会の常連メンバーも 70~80 歳台と高齢化に伴い、身体的条件(健康上)のため出席困難な状態で、同窓会に関心を持っていても鹿児島、宮崎方面から福岡まで行くことは金銭面、体力面で負担が多すぎるとの問題点指摘もなされました。ここ 20 数年新日鉄八幡に大学の卒業生も全く入ってこなくなりました。



中国・四国支部との交流会も定期的に行っていますが、支部活動に対する関心が極めて低いというのが共通認識です。九州支部に U ターンの若手が現れてくれれば支部の核として活性化の展望も拓けるとの希望がもてます。

東京方面の各支部が活発な活動をされているのが羨ましい限りです。九州支部となにが違うのか、どうすれば活性化が図れるのか、6 月 25 日(土)の総会では今後の活動の参考になる情報を少しでも多く身につけて帰りたいと思います。

次に九州支部の歴代支部長は次の通りです。
初代：定村祐三(昭 16 専金；故人、平 6. 12. 27 支部長在任中逝去)、第 2 代：黒澤準一(昭 28

学原)、第 3 代：鈴木規夫(昭 31 学機)、第 4 代：金田耕一(昭 32 学機)。

支部の同好会等についてですが、高齢化に伴い団体での活動は困難になり、体力維持と健康増進のために各人がマイペースで趣味・運動に取り組んでいるという状況です。

私の場合は年に一度、秋の台湾訪問旅行(10 日間前後)が最大の楽しみです。

最後に、支部同好会の会報を贈ってくださる全国の支部の皆さん、本部および東京支部の皆さんのご健勝とますますのご発展を祈っております。



2010-5-9 別府にて木曾会長を迎えての支部定例総会記念写真

著者プロフィール

昭和 14 年生。福島県出身。

昭和 39 年 4 月八幡製鐵(株)入社

(昭和 45 年富士製鐵(株)と合併、新日本製鐵(株)となる)

平成 6 年 10 月三島光産(株)入社

平成 16 年 12 月三島光産(株)退社

平成 17 年 6 月：台湾の諾司実業(股)入社

平成 19 年 11 月：同社退社

趣味：ランニング、登山、マウンテンバイク、庭木手入れ、野菜・果物栽培

資格：公害防止管理者(騒音)

パソコンミニ情報

ホームページ編集室から



使って便利な無料ソフトを一つ紹介します。

最近、お役所などへの申請書類の様式を Web 上に PDF ファイルで提供しているところが増えてきました。一般にはこの書式をダウンロードし、プリントした後手書きで記入し、提出することになりますが、このソフト(Foxit J-Reader 4.2)を利用すれば PDF 形式の様式に直接文字を挿入しプリントすることが出来ます。

ダウンロード先 URL :

<http://www.foxitsoftware.com/japan/products/reader/downloads.php>

Windows 7 Vista XP で使用可能です。詳細はメーカーの HP をご覧下さい。

なお、同一ソフトメーカーの PDF ファイル作成ソフト(Foxit PDF Creator)は有料となっていますのでご注意下さい。

実際の使用に当たっては Foxit J-Reader で PDF ファイルを開いた後、[注釈(c)] → [タイプライターツール(w)] → [タイプライターツール(t)] と進みます。字体、大きさ、挿入位置など自由に設定できます。

なお、ダウンロード・インストールは自己責任でお願いします。

ギターの魅力を聞く

村松 泰弘 氏 (昭 44 学電)

【編集室から】

村松さんがギターリストとして東京・埼玉で活躍しているとの風の便りがあり、インターネットで彼のホームページを覗くと演奏会やCD録音などのギター演奏活動の軌跡が記されていました。大学卒業以来お会いしていなかったのですが、連絡が取れ新宿にお出でいただきインタビューしました。

石川 久 (昭 44 学子)

ギターとの出会いは？

高校二年のとき、友人が始めたので自分も安いギターを買ってもらい練習を始めました。当時、ビデオはなかったし、テレビ番組もめったになかったし、ギターの情報が乏しく、楽器店においてあったカルカッシギター教則本を購入し、独学で始めました。



学生時代

大学でのギターはどうだったのですか？

大学は岩手大学と茨城大学に合格したのですが、ギタークラブがあった茨城大学に入学しました。入学式が終わってすぐ、ギタークラブに入部しました。高校生のときは一人練習で孤独でしたが、クラブでは皆で弾く合奏に初めて出会い新鮮な感動を覚えました。高校は受験校でもあったし男子校だったので無味乾燥でしたが、大学で女子学生との楽しい合同演奏や合宿ができて胸がときめいたものでした。

弾くことの楽しさとは？

ギターはメロディを弾くことも伴奏することも、両方を一緒に弾くこともできる楽器です。ピアノと違い持ち運びができてどこにいてもすぐ演奏ができます。人の手で直接音を出すので弾く人によって出てくる音は異なります。自分の音が出てくるというのがいいのです。仕事に疲れたとき、うまく行かなくて落ち込んだときとか、ボンと一つの音を出すだけで癒されます。やさしい曲を簡単に弾ける一方で、数パートを一緒に弾きこなす難曲まで奥の深い楽器です。就職したての若い頃、数週間の出張にもギターを持参し、よく弾いたものです。それによって気分転換が図れ、仕事の効率も上がった記憶があります。



最近の演奏会 (今年の同窓の集い)

初めての演奏会は心が躍ったのでは？

初めての演奏会は大学一年のギタークラブの秋の発表会でした。パートが集まってパート練習したり、全員であわせたり、夏合宿を含め、曲を仕上げていく苦労と発表会の舞台での緊張感は懐かしい思い出です。グランソロというギター独奏の難曲を皆で弾く楽しさを感じ、マンゴ No.5 の、今までに体験したことのないリズムの難しさを学びましたし、この曲によりリズム感が向上できました。いやになったこともたびたびありました。ギターを教えるようになって、今まで何気なく弾いていたことを生徒がわかるように論理立てて説明することがたくさんあります。教えるために学ぶこともたくさんありました。

人前で演奏する時、当初は緊張で手が震えて弾けなくなることもありましたが、場数を踏み徐々に思いを伝えられる演奏ができるようになって来ました。音楽では実力以上の演奏ができるわけではなく、60%を出せたらよい方です。教室の発表会等で、実力以上を出そうとあがってしまい逆に実力を出せないケースが見受けられます。良い演奏をしようと思うと力が入ってうまくいかないし、それまでにどれだけ積み上げてきたかが自信に繋がります。最近「今から弾く曲はこん

なに良い曲ですよ。聞いてください！」というような気持ちで演奏しています。

どのように「レパートリー」を増やしてきたのでしょうか？

「レパートリー」はクラシックギター専門誌が2社あり、その添付楽譜や新譜紹介の記事から情報を得て楽譜を探します。また、演奏会で演奏された曲やCDで演奏された曲から弾きたい感じる曲があると楽譜を国内外に求めます。

尊敬しているクラシックギタリストは沢山います。一番はスペイン生まれのアンドレス・セゴビアです。今日のクラシックギターの隆盛は彼の力です。それまではバッハのシャコンヌをギターで弾くなどということは考えられなかったのですが、彼が演奏して世界中を驚かしました。この後、現代の作曲家たちがクラシックギターのための作品を彼のために作ったので、たくさんのギタリストが生まれました。次に挙げるのはやはりスペイン生まれのナルシソ・イエペスです。映画「禁じられた遊び」の音楽をギター一本で担当し、主題曲の愛のロマンスは大ヒットし、我々の世代はこの曲を弾きたくてギターを始めたものです。

今、日本人で活躍している人がたくさんいます。山下和仁、福田進一、鈴木大介、村治佳織、大萩康司と数えきれませんが、特に私の一押しは益田正洋君です。CDが出ていますのでぜひ聴いてみて下さい。



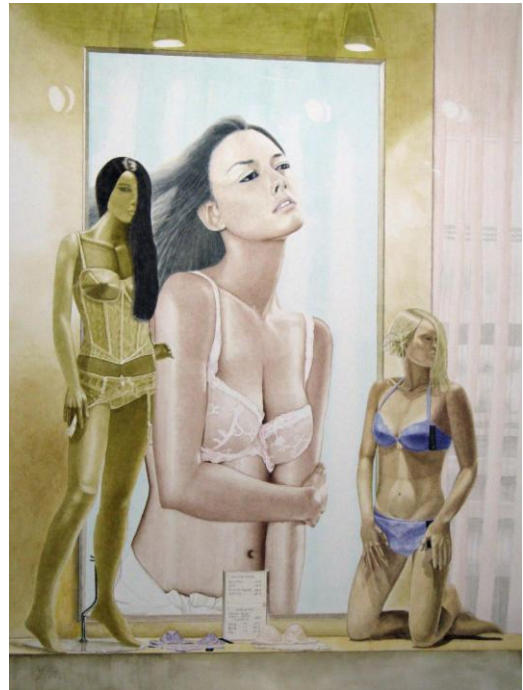
女性とのコラボ

今後の抱負について聞かせてください

最近、老人ホームやデイケア等からの慰問演奏を頼まれることが多くなってきました。演奏会では弾くことがない懐メロや唱歌等を弾くことが多くなってきたんですよ。年のせいか、それも楽しく感じるようになってきました。

それと退職3年前から始めた水彩画に、今ははまっておりまして当初はB5程度の小さい絵を描いていたのですが、武者修行のために公募展に挑戦するようになり、畳一畳ぐらいの大きな絵を描くようになりました。一昨年は日本水彩画展、埼

玉県展、県北展に挑戦しことごとく落選しましたが、それを糧に再挑戦し、昨年は入選や入賞を勝ち取ることができました。今後もより高いレベルを目指して描いていこうかなと思っています。



絵画入選作品の紹介

【後記】

40年ぶりでお会いした村松さんが芸術を趣味としていきいきと第二の道を歩まれている姿に感動しました。村松さんの挑戦のエネルギーの源は何なのかまだまだ聞き足りなかったようです。多賀工業会の支部活動としてギタークラブや絵画クラブなどのリーダーとして同窓会でも活躍できるような気がしました。村松さんインタビューに応じていただき有難うございました。

村松氏プロフィール

- 1945年 福島県郡山市に生れる
 - 1965年 茨城大学工学部電気工学科入学
クラシックギター研究会に所属し、アンサンブルの楽しさを知る。
 - 1969年 茨城大工学部電気工学科卒。
株式会社東芝へ入社
 - 1987年 新堀ギター音楽院の講師資格取得
 - 1988年 第19回全日本ギターコンクール
重奏部門銅賞
 - 2001年 CD・村松泰弘リサイタルを
リリース
 - 2006年 株式会社東芝退社
現在 埼玉県東松山市、寄居町にて
ギター教室教授中
- 趣味：**水彩画（全国日曜画家連盟に所属し、一年に一度の海外写生旅行を楽しむ）

お知らせ 囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、専通 22 の大先輩から
 学子 51 の若手までの方々 40 名で、棋力は七段から
 4 級までいろいろです。

大会は、年に 4 回で、2 月、5 月、11 月の第 2 土
 曜日と 8 月の第 1 土曜日に東京市ヶ谷の日本棋院
 で行います。試合は、午前 10 時から夕方まで、
 参加者各人が 5 回対局する方式で熱戦を繰り広げ



ます。

初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用して
 いて、段級位にかかわらず、勝つチャンスがある
 ような運営システムでやっています。成績次第で、
 段級位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご
 参加ください。

会費は 3,000 円 (入場料、運営費を含む) で
 1 位から 6 位までの方と実力を発揮できなかった
 方 1 名に奨励賞が授与されます (スイス方式を採
 用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な
 懇親会を行っています。

← 第 46 回多賀工業会囲碁大会参加者 (写真)

後列左から：田口五段、山田五段、照沼三段、関三
 段、兼子二段、小白井二段

中列左から：高橋五段、豊田四段、真下七段、上田
 三段

前列左から：田中四段、藤沼四段、山下七段、高田
 三段、山崎 3 級、廣瀬二段

(日本棋院東京本院 6 階「爛柯」→下段 註 参照)

 大会入賞者 (支部会報第 13 号記載以降)

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	六位	奨励賞	参加者
43	2010 08-07	上田三段 (電 37)	兼子二段 (電 38)	廣瀬二段 (電 38)	小白井二段 (機 28)	菅谷 2 級 (機 42)	山下七段 (電 32)	海老原 3 級 (金 38)	16 名
44	2010 11-13	藤沼三段 (機 43)	粕谷二段 (電 42)	兼子二段 (電 38)	上田三段 (電 37)	酒井三段 (金 44)	幸道初段 (通 22)	海老原 4 級 (金 38)	19 名
45	2011 02-15	藤沼三段 (機 43)	田中四段 (化 40)	関英雄三段 (機 28)	山田五段 (電 42)	岩田二段 (機 28)	寺内四段 (電 38)	山崎 2 級 (原 31)	16 名
46	2011 05.01	高橋五段 (精 41)	高田三段 (機 28)	藤沼四段 (機 43)	田口五段 (電 32)	上田三段 (電 37)	豊田四段 (機 38)	照沼三段 (金 29)	17 名

旧制水戸高校と親善囲碁大会

高田 丈夫 (昭 28 学機)

本大会は千葉県支部、埼玉支部からの応援参加を
 得て、溜池山王の細川ビルで、年 2 回行われていま
 す。

第 7 回：平成 22 年 8 月 28 日 (土)

参加者：水高側 9 名、多賀工業側 13 名
 多賀工業側側の勝敗 32 勝 19 敗 1 持碁

4 勝 0 敗 照沼清 3 勝 1 持碁 関英雄

3 勝 1 敗 高田丈夫、田口嘉男、穂坂邦光、
 田中栄太郎、粕谷利夫

2 勝 2 敗 佐藤隆義、山田恵規、上田正雄、幸道貞一

第 8 回：平成 23 年 2 月 19 日 (土)

参加者：水高側 8 名、多賀工業側 13 名
 多賀工業側側の勝敗 28 勝 24 敗

4 勝 0 敗 山田恵規

3 勝 1 敗 田口嘉男、兼子八郎、田中栄太郎

2 勝 2 敗 佐藤隆義、山下正明、佐藤哲雄、幸道貞一
 藤沼隆夫、高田丈夫

1 勝 3 敗 高橋孝雄

0 勝 4 敗 照沼清



註「爛柯」：(らんか)《晋の時代、王質という木こり
 が森の中で童子らの打つ碁を見ているうちに、斧の柯
 (え)が爛(くさ)ってしまうほどの時がたっていたとい
 う、「述異記」にみえる故事から》**囲碁**の別称。



ゴルフ同好会

幹事 小澤 茂(昭43 学子)

年間行事として春秋2回のコンペと、6月には5支部対抗懇親コンペを開催しています。

(1) 平成22年4月14日(水)

第18回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：18名

(2) 平成22年6月2日(水)

4支部懇親コンペ：水戸勝田支部が幹事担当
霞ヶ浦国際ゴルフコース 参加者：20名
(以上については、会報第13号で既報)

(3) 平成22年11月17日(水)

第19回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：18名(敬称略)

上月(昭36学機)、真下(昭36学機)、駒場(昭38学機)、小林(昭38学機)、大久(昭38学電)、磯部(昭38学精)、根本(昭38学電)、橋本(昭38学電)、兼子(昭38学電)、森(昭40学化)、大泉(昭40学精)、青野(昭41学化)、佐藤(昭43学子)、千ヶ崎(昭43学子)、野崎(昭43学子)、袴塚(昭43学子)、松田(昭49院子)、小澤

優勝：青野、準優勝：磯部、3位：森

BG：青野 DC：千ヶ崎、根本 NP：青野、佐藤
☆好調な青野さんが、ベスグロ他各種賞を稼ぎ、団体戦は、第2組が勝利しました。

(4) 平成23年4月13日(水)

第20回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：13名(敬称略)

上田(昭36学機)、橋本、磯部、大久、兼子、森、青野、佐藤、千ヶ崎、角田(昭43子)、袴塚、松田、小澤

優勝：上田、準優勝：兼子、3位：橋本

BG：上田 DC：青野(2) NP：青野(2)、橋本、森

☆風邪気味な上田さんが、安定したプレーを披露し、ベスグロで優勝を飾りました。

☆6/7の4支部懇親コンペ支部代表：青野、大久、磯部、佐藤の4氏に決定。

(5) 平成23年6月7日(火)

4支部懇親コンペ：埼玉支部が幹事担当
プレステージカントリークラブ

HDCPは新ペリヤ方式

天候にも恵まれ、5組20名の参加で、個人戦優勝は、最近安定した実力を発揮している埼玉支部の森俊和さん(昭40化)がベスグロで飾りました。団体戦は、川崎稔さん(昭32電)の活躍で水戸勝田支部が優勝し、残念ながら東京支部は磯部亮さん(昭38学精)の奮闘にもかかわらず3位に甘んじました。

(6) 平成23年11月16日(水)

第21回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：募集中、10月30日締切り

(7)

連絡窓口 (入会歓迎です！)

小澤 茂 TEL：045-861-6718

写真説明：平成22年11月17日 紫CCあやめ東コースにて スタート前に全員集合。

後列 左から 松田、千ヶ崎、小林(中屈み)、森、青野、磯部、真下、野崎、橋本、根本、佐藤、
前列 左から 小澤、駒場、袴塚、上月、大泉、兼子、大久 (敬称略)





山遊会



会長代行 小森 廣樹 (昭 42 学機)

22 年度は第 28 回から第 32 回まで 5 回の山行を行いました。このうち 1 回は一泊しての丹沢山行でした。いずれも前年度に立てられた計画で実施しています。

この年の 9 月に不運にも菅谷会長が突然の病気に見舞われてしまい、代行を小森会員が努めることになりました。菅谷会長の復帰を願うものです。

23 年度は田崎副会長が取りまとめた計画に沿って進めてゆく予定ですが、最初の 4 月初旬に予定されていた「常陸の国の花々を愛する懐古ハイク」はこのたびの東日本大震災のため中止しました。予定の場所が被災地の一部であり、それにも増して立案と案内をする会員 (小沼氏、小宅氏) の職場が被災し、あるいは災害の対応で参加できなくなったためです。なお、山行計画ごとに約 1 ヶ月前に「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。会員でない方の参加も歓迎します。是非参加してください。

1. 第 28 回

カタクリ咲く山の花道と秩父札所めぐり

実施日：2010 年 4 月 3 日 (土) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八 (昭 32 学電)

参加者：5 名

今回は、残念ながら 5 名といつもより少なめだった。10 時山道を進んだ。途中の桜は咲くまでにあと 1 週間ぐらいはかかりそう。10 時 20 分八坂神社。小さな社だが、古い山車が飾ってあり、歴史が感じられた。10 時 50 分にはカタクリ自生地入口に到着した。鹿の食害で昔と比べ減っているとのことだが、紫のカタクリがたくさん咲いていた。また、可憐なアズマイチゲも一緒に咲いていてすばらしいと思った。



11 時 45 分日向山頂上に到着、食事を楽しんだ。12 時 25 分には頂上を出発、高原パーク横瀬を通り過ぎて 6 番札所・ト雲寺、7 番札所・法長寺、9 番札所・明智寺と巡った。時間があつたので羊山



公園まで行った。芝桜は満開にほど遠い。武甲山はここからも正面に見え、石灰岩を階段状に掘ったこの山は、秩父の象徴だなどと思いながら公園を出て 12 番札所・野坂寺に行き、15 時 45 分に西武秩父駅に到着し、16 時 30 分池袋行き快速急行で家路に着いた。(報告者：菅谷)

2. 29 回第 丹沢山 (1567m) 登山

実施日：5 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)

1 泊 2 日

企画及びリーダー：林 昭彦 (特別会員)

参加者：5 名

5 月 29 日 (土) 小田急線新宿駅 7:10 発に乗車し秦野駅で 5 名が集合し、バスでヤビツ峠に向かった。峠では霧雨が小雨になり身支度を調べ、10:00 出発した。階段に加えて足元はぬかるみ、大汗かいての歩行となった。11:55 二ノ塔に到着。鶯が出迎える中、三ノ塔 (1,205m) に到着、ガスっていて何も見えず空が明るくなると霧が白く輝いてまぶしく汗、汗だった。13:15 鳥尾小屋に到着、小屋で温かいお茶やコーヒーをとった。ここを出発し行者岳、政次郎ノ頭、新大日茶屋、16:10 塔ノ岳山頂 (1,491m)、17:45 丹沢山山頂 (1,567m) に到着、お隣に建つ「みやま山荘」へ。山荘のお姉さんが「遅くてちょっぴり心配した。」とのこと。6 時から夕食、1 枚の布団に 2 名の割り当て。食堂へ、冷たいビールを飲み、佐竹さんが持参してくれたハイボールを飲み、ハムとキャベツの千切りがメインの夕食を味わった。夜、枕のないには弱った。人いきれで暑かった。

30 日 (日) 朝食後 6:35 に丹沢山を出発。雨模様で雨支度をした。霧で景色が楽しめない中、ホトトギスの鳴き声も聞こえてきた。8:00 塔ノ岳山頂に着くと、カモシカが 1 匹悠々と草を食んでいた。金冷ノ頭を過ぎるころは崖に生えたミツバツツジの紫が白い霧に中でひととき鮮やかだった。

花立山荘、二俣、堀山の家、見晴茶屋を通過して歩きの終点、12:00 大倉のどんぐり山荘に到着。

雨支度を脱ぎ、ビールとおつまみと地元の冷酒を楽しみ、ラーメンで仕上げ、2時にはバスで渋沢駅まで戻った。小田急の急行に乗って、流れ解散となりました。(報告者：菅谷)

3. 第30回 日光霧降高原・丸山ハイキング

実施日：2010年7月10日(土)日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八(昭32学電)

参加者：3名

梅雨時のためか田崎リーダー、佐竹さん、私(菅谷)の3名とさびしい限り。人身事故で電車が遅れ、集合時間に間に合わなかった田崎さんを抜きにして東武日光線・浅草駅を7:10発の快速で出発した。前日までの梅雨空がうそのような好天となった。田崎さんとは東武日光駅で合流。10:00には霧降高原バス停に到着できた。ここを出発し、リフト脇の登山道を登った。高原ハウスに到着すると、そこにはニッコウキスゲが群生していた。ここから胸突き八丁の急坂を登って11:30にはキ



スゲ平(1,635m)に到着した。リフト降り場からキスゲ平までの道にニッコウキスゲがいっぱい咲き乱れていた。昼食。佐竹さんが冷たい缶ビールを運んでくれた。極楽だった。ここを出発し、12:25丸山頂上に到着。たくさんの赤とんぼが迎えてくれた。すばらしい眺望だった。下山開始。時折、鶯の声を聞きながら高原ホテルに。ここから東武日光駅に戻った。(報告者：菅谷)

4. 第31回 高川山登山

実施日：2010年11月21日(日)日帰り

企画：林 昭彦(特別会員)

リーダー：田崎耕八(昭32学電)

参加者：8名

この山は大月市選定の「秀麗富嶽12景」の一つ。初狩駅前から登山開始。高川山は独立した山で登山道はほとんど通して上りである。途中のスギやヒノキ林の緑、赤や黄色に紅葉したモミジその他の雑木林が混じりあって目を楽しませてくれる。2時間弱で頂上へ。待望の富士はどうか。頂上付近には雲が掛かっていたが、やがて雲を裾にして姿が見えてきた。ここで弁当。しばらくすると佐竹ふみ子さんが用意してくれた温かい焼酎の

お湯割りが回ってきた。感謝感激である。13時前に下山を始める。下山道には鮮やかに紅葉したモミジ、大きな枯れ葉を落としたホウの木がたくさん生えていた。禾生駅へ。そして富士急行線で大月まで。駅の近くの和風レストランで落ち着いた。そして予定通りの時刻に大月をあとにした。



(報告者：小森)

5. 第32回 高尾山からの「ダイヤモンド富士」ハイキング

参加者：10名

実施日：2010年11月21日(日)日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八(昭32学電)

冬至前後の午後4時ごろから始まる山頂からのダイヤモンド富士を見るという計画で高尾山に登った。午前中、紅葉台から見た富士山には雲が懸かっていた。昼食をとり、城山に足を伸ばし休憩。再び引き返して撮影場所の紅葉台には3時前に戻った。この間に幸運にも富士山から雲がすっかり払われ、そのクリアな姿が現れていた。予定するダイヤモンド富士は4時5分頃。我々メンバーでは小林さんを筆頭に5人が三脚を立てたカメラを構えている。ついにダイヤモンドが輝きだした。日は頂上の北側の肩に沈んでゆく。そして稜線にやや沿うように姿を隠していった。残光がきれいだ。我が5人のカメラマンは、4時5分いっせいにシャッターを切った。そして期待通りのすばらしいダイヤモンドを見、撮影もできた。



下山の途中、薬王院にお参りをして今闘病中の菅谷さんの回復を皆で祈願した。(報告者：小森)



写真同好会

会長 小林 渡 (昭38学電)

写真同好会「多賀いちょう写真部」は会員17名、年2回の撮影会、茨城大学工学部「こうがく祭」及び「支部総会写真展」への出展、デジタル写意講習会を実施しています。埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」と連携し相互の撮影会に参加、技術の向上、親睦を深めています。(文中敬称略)

平成22年度の活動状況は以下の通りです。

* 春の撮影会

平成22年5月4日「梅と藤と学問」で有名な亀戸天神で「藤の花撮影会」を実施しました。学問の神様菅原道真を祭る東京下町の名所です。参加者 玉川信二(28学電)、三好成實(39学機)

* 「こうがく祭」写真出展

平成22年6月5日(土)多賀工業会館で展示しました。会員10名、20点(内組写意4点)

* 東京支部総会写真出展

平成22年10月16日(土)、会員12名、18点展示しました。

* 秋の撮影会

平成22年11月12日(金)～13時(土)一泊二日紅葉の箱根で実施しました。天候に恵まれピークを迎えた箱根の秋をまさに堪能する撮影行となりました。12日は千条の滝、箱根美術庭園で、13日は長安時、仙石原ですすき等を撮影しました。最高の紅葉の時期の撮影会でした。参加者 寺門修(30学原・埼玉支部)、新沼厚生(38学電)、小林渡(38学電)、原俊彦(39学電)、三好成實

* 写真部総会

平成23年3月4日(金)東京西日暮里「東京知道会事務所」にて開催しました。参加者13名

- 平成23年度第14号支部会報表紙写真の選定参加写真17点、出席者全員の投票で3点選出、協議の結果、鈴木日出男(30学原)撮影「夜雨」に決定しました。東京支部ホームページ上で募集しましたが一般会員の方からの応募はありませんでした。
- 講習会第1部
講師 鈴木日出男(30学電) 「一からわかるデジタル写真教室」→資料「フォトアサヒ」2010年11月～2011年3月連載分
- 講習会第2部
講師 小林 渡 「Adobe Photoshop Elementsの紹介と便利な機能」→資料GAKKEN「デジタル写真修正と加工 フォトショップ エレメンツ活用BOOK」より抜粋
- 平成23年度行事計画

- 春の撮影会 「文豪達が生きた街、文京、本郷 界限、不忍池を歩く」 5月中旬
- 秋の撮影会 「軽井沢・蓼科方面」 1泊2日コース
- 「こうがく祭」への出展
東日本大震災の影響で中止となりました。
- 東京支部総会への出展 6月25日(土)開催

* 会員活動状況

齋田和夫(28学機)、鈴木日出男、澤野孝慈(37学機)、小林 渡、石川 久(44学子)、堀口正治(46院子)の6会員が全日本写真連盟に属し、各種写真コンテストで活躍しています。主な活動状況は

- 齋田和夫
 - 第71回国際サロン展 入選
 - 第60回埼玉県展 委託出展
 - 第27回埼玉県写真サロン展 招待出展
- 鈴木日出男
 - 第60回埼玉県展 入選
- 澤野孝慈
 - 神奈川県本部「第55回全神奈川写真サロン公募展」 特選
 - 神奈川県本部11月例会「ネイチャー・風景部門」 優秀賞
- 小林 渡
 - 神奈川県本部「全神奈川写真サロン公募展」 本部長賞
- 石川 久
 - 茨城県本部 海の街 大洗大撮影会「モデルの部」 準特選
- 堀口正治
 - 関東本部第2回 人間大好き！フォトコンテスト 特選
 - 東京都本部「第42回カラーフェア」 朝日新聞社賞
 - 茨城県本部 海の街 大洗大撮影会「風景部門」最優秀賞

* 入会のご案内

撮影会の案内は東京支部のホームページに掲載しています。

連絡窓口 小林 渡 TEL/FAX: 045-363-0785
E-mail: koba-wt@nifty.com

掲載写真 平成23年3月4日 写真部総会 前列左から 三本木、堀口、鈴木、山崎、玉川
後列左から 兼子、三好、広瀬、小澤、澤野、高橋、小林、高萩



第30回記念支部総会写真展出展リスト

氏名	卒年・科	題名	撮影地	特記事項
菊池 玲二	昭26専通	ワッ！掲げた	池袋商店会	
		早く歩きたい	川越祭り	
斎田 和夫	昭28学機	山麓の朝	ネパール	2010埼玉県委託作品
		今日も元気で働こう	静岡市	2010さいたまサロン展招待作品
鈴木日出男	昭30学原	思春期	ネパール	2010 埼玉県展入選
瀬在 城雄	昭31学原	船を追うかもめ	宮城県松島湾	
山崎慎一郎	昭31学原	釣り人	いわき市小名浜港	
		歓び	いわき市マリナー海水浴場	
澤野 孝慈	昭37学機	雨情	鎌倉市鶴岡八幡宮	2010全神奈川写真サロン公募展特選
小林 渡	昭38学電	内戦の悲劇	ボスニア・ヘルツ・ゴビナ	2010全神奈川写真サロン公募展本部長賞
		幸せカップル	神宮外苑	全日写連神奈川本部12月度月例会優秀賞
高萩 隆司	昭38学電	お出まし	イタリア・バチカン・成田山	
三好 成實	昭39学機	祈る	東京・目黒区	
		砂丘にて	鳥取砂丘	
吉田 宗昭	昭39学精	江戸の花 さくらぞ	八王子市・自宅	
高橋 伸二	昭41学機	赤い海を征く	日高市巾着田	
堀口 正治	昭46院子	極北の詩	アラスカ・フェアバンクス	
		天空のリング	アラスカ・フェアバンクス	



快舞会

瀬在 城雄 (昭31学原)

快舞会は平成19年5月発足以来、会員の増員に努力してきましたが残念ながら22年度も会員5名、特別会員3名、賛助会員女性2名で活動を続けてきました。活動方針は従来通り定例ダンスパーティ年4回(1回はダンス旅行)とし、その他、年1~2回は他のダンスグループ主催のパーティに参加することにしていますが、実状は下記の通り2回しか実施出来ませんでした。

第18回 平成22年4月9日(金)

場所：東宝ダンスホール(有楽町ツインタワー7F)
参加者：8名 明石和夫(22専金)、柳澤裕(28学原)、佐藤久弥(30学機)夫妻、成井浩(30学原)夫妻、瀬在城雄(31学原)夫妻

第19回 平成22年6月25日(火)

場所：杉並公会堂地下グランサロン
欠席者多数となり中止しました。

第20回 平成22年8月8日(日)

場所：シノダスポーツダンスクラブ(新宿御苑前)
主催者側の都合で中止となりました。

第21回 平成22年10月4日(水)~5日

ダンス旅行

大江戸温泉物語日光霜降内

(ダンスホールグランステップ)

参加者：6名 柳澤夫妻、佐藤夫妻、瀬在夫妻

当初9名参加の予定でしたが、体調不良等で不参加者が出ました。

第22回 平成23年2月17日(木)

場所：杉並区浜田山会館

(さのダンスグループ主催)

不参加者が多数となり中止しました。

平成22年度は、高齢化による体調不良及び病気で通院している会員が増え、退会希望者が殆どの状況で平成23年度の存続が危うい状況にあり、現在休部扱いとなっています。

<写真>ダンス旅行時 (撮影 筆者)



左から瀬在妻、柳沢夫妻、佐藤夫妻

★★ご関心のある方は事務局へご連絡ください。
(ホームページからのご連絡がベストです。)

平成22年度会費納入者

(敬称略、順不同)

(平成23年3月31日までに納入された方)

* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。
未納の方はご入金をお願いいたします。
Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

氏名の前の口は平成21年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成23年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

昭16専機 大矢 純一③	昭25専原 忍田 邦夫	昭32学機 伊藤 義次	昭38学機 桜井 衛
昭16専原 小川 義夫	昭25専電 高橋 清	昭32学機 川又 俊夫	昭38学機 佐藤 幸一
昭17専機 田邊 邦行②	昭25教機 酒井 三郎	昭32学機 國井 榮次	昭38学機 丹下 宏
昭17専金 坪能 進	昭26専原 渡邊 貢	昭32学機 柴田 勇治	昭38学機 豊田 元雄
昭17専金 依田 連平	昭26専原 永山 正美	昭32学機 平沢 正一	昭38学機 寺門 章
昭18専機 菅原 庄一	昭26専通 菊地 玲二⑤	昭32学原 舛井 祝男	昭38学機 長谷川 幸夫
昭18専機 山本 栄治	昭28学機 坂場 昭二	昭32学原 矢野 睦男	昭38学機 半田 守正
昭18専精 立枝 茂男	昭28学機 坂本 泰彦	昭32学原 榊原 康夫	昭38学機 牧山 永三
昭18専金 市島 健男	昭28学機 関 英雄	昭32学電 田口 嘉男	昭38学機 益子 洋一
昭18専金 山田 実	昭28学機 高田 丈夫	昭32学電 田崎 耕八	昭38学機 徳江 景英
昭19専機 大和田 光徳	昭28学機 宮本 昇	昭32学電 山下 正明	昭38学機 4 大原 節
昭19専原 朽本 二郎	昭28学機 斎田 和夫④	昭32学電 横山 衛①	昭38学電 今橋 富美男
昭19専精 小泉 篤	昭28学機 小白井 和典	昭33学機 奥 康治	昭38学電 遠藤 喜久男
昭19専精 柳田 裕美	昭28学原 戸島 日出雄	昭33学原 山崎 勝雄	昭38学電 大竹 充
昭19専精 飯田 栄三	昭28学原 柳沢 裕	昭33学電 鳥居 由幸	昭38学電 大久 忠雄
昭19専金 大鷹 浩介	昭28学原 山口 茂男	昭33学金 三浦 陽	昭38学電 兼子 八郎②
昭20専機 有井 満①	昭28学電 稻見 孝	昭33短電 伊藤 誠二	昭38学電 後藤 紀夫
昭20専機 故・岡本 公夫	昭28学電 近江 義勝	昭34学原 粕谷 宏夫	昭38学電 小林 渡
昭20専原 友保 伊弘	昭28学電 白瀬 達郎	昭34学電 2 千葉 克男②	昭38学電 佐々木 登喜夫①
昭20専精 田島 廣一	昭28学電 玉川 信二	昭34学電 結城 佑	昭38学電 田川 政行②
昭20専電 都築 久一②	昭28学電 橋本 久美	昭35学機 高野 久弘	昭38学電 新沼 厚生
昭20専電 山内 宏	昭28学電 藤田 史郎	昭36学機 柏木 尚	昭38学電 橋本 政巳
昭22専原 石川 義男	昭28学電 中原 太平	昭36学機 上月 秀俊	昭38学電 熊谷 文男②
昭22専金 明石 和夫	昭29学機 永島 隆	昭36学機 境 茂郎	昭38学電 高萩 隆司
昭22専電 野坂 賢司	昭29学原 石橋 弘	昭36学機 真下 知行①	昭38学電 小島 淳
昭22専通 幸道 貞一	昭29学原 大久保 半吾	昭36学機 森永 隆宏	昭38学電 坂野 栄
昭22専通 谷口 貞作①	昭29学原 奥野 真治	昭36学機 横山 馨	昭38学電 橋 弘
昭22専通 中村 弘	昭29学電 森 章太郎①	昭36学電 小宅 仁①	昭38学電 寺内 賢一
昭22専通 前田 豊昭	昭29学金 照沼 清	昭36学電 橋本 正直	昭38学電 広瀬 行一⑤
昭22専通 今井 俊夫	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学金 高信 和明④	昭38学電 根本 陽④
昭22専通 保坂 博②	昭30学機 4 松沢 勝海	昭37学機 澤野 孝慈③	昭38学電 内田 茂
昭23専機 梅田 政夫	昭30学原 成井 浩	昭37学機 宮沢 信夫	昭38学金 海老原 雄二
昭23専原 飯島 公正	昭30学原 鈴木 日出男	昭37学電 上田 正雄	昭38学化 大塚 進④
昭23専金 菊地 秀利	昭30学金 黒沢 正蔵	昭37学電 田北 嵩晴	昭38学化 小田倉 勝夫
昭23専電 塩野 譲	昭30学金 三本木 武	昭37学金 篠原 康祐	昭38学化 小池 利彦
昭23専舶 森 栄一郎	昭31学原 瀬在 城雄	昭37学金 舟田 隆	昭38学化 白石 道彦①
昭23教電 千野 吉治	昭31学原 山崎 慎一郎	昭37学化 寺門 紘	昭38学化 高木 二郎
昭24専電 白石 壽男④	昭31学電 大内 孝	昭38学機 河上 弘一	昭38学化 松浦 正明
昭24専舶 小峰 弘	昭31学電 藤川 俊明	昭38学機 小林 一	昭38学化 矢部 功一
昭24専舶 杉山 六郎	昭31学金 細井 陽子	昭38学機 駒場 方耀	昭38学精 磯部 亮

昭38学精 市村 敬司④	昭41学化 青野 潔	昭44学電 緑川 晃④	昭48学機 宮城 緑郎
昭38学精 上野 武彦	昭41学化 小沼 淳志④	昭44学子 五十嵐 幸治	昭48学子 細矢 徹夫②
昭38学精 黒羽 昇	昭41学化 橋川 隆夫	昭44学子 石川 久	昭48学金 佐々木 光正③
昭38学精 西村 政雄①	昭41学精 高橋 徹男	昭44学子 笹島 晃	昭48学金 平野 秀朗①
昭38学精 矢嶋 國男①	昭42学機 小森 廣樹	昭44学子 常盤 浩央	昭49院子 松田 秀雄③
昭39学機 三好 成實	昭42学機 菅谷 禎男	昭44学子 堀口 正治	昭50学子 松田 実
昭39学機 小林 章夫	昭42学機 藤嶋 久波	昭44学子 吉田 真吾	昭51学子 鈴木 弘光
昭39学機 須藤 和英	昭42学電 森田 徹郎②	昭44学子 阿部 正志	昭52学子 ① 福田 光男
昭39学機 佐川 六郎	昭42学電 八重樫 春美	昭44学子 萩原 春嬉	昭56学機 峰村 勝幸③
昭39学電 原 俊彦	昭42学電 山田 恵規③	昭44学金 酒井 茂	昭59学子 仲澤 斉③
昭39学金 横山 安行①	昭42学金 小菌井 健②	昭44学精 岩波 茂	昭60学電 太田 悦子
昭40学機 熊倉 通	昭42学精 下ノ村 勇②	昭44学精 菊地 政行	昭60学精 豊福 秀敏
昭40学機 菅谷 忠雄	昭42学精 山本 蕃	昭44学精 山口 良治	昭61学電 朝日 義和
昭40学電 手塚 勇夫	昭43学機 辻村 勝利	昭45学子 佐藤 允	昭61学化 銭場 礼子
昭40学電 山崎 輝行	昭43学電 後藤 豊弘②	昭45学子 藤枝 伸一①	昭62学化 鈴木 葉子
昭40学金 松本 二郎	昭43学子 小澤 茂	昭46学電 飯塚 英一	昭63院情 二川 克美
昭40学化 高久 洋①	昭43学子 鴨志田 三千男	昭46学電 狩野 守	平04学情 秋山 英樹
昭40学化 田中 栄太郎	昭43学子 佐藤 将彦	昭46学子 大崎 孝明	平08学電・子 生井澤 伸秋④
昭40学化 森 俊和	昭43学子 鈴木 弘道③	昭46学子 栗原 功幸	平08院生 東 學
昭40学精 大泉 雅靖	昭43学子 角田 勇	昭46院機 岡本 和彦②	平10学機 山本 夏江④
昭40学精 寺 紘一	昭43学子 野崎 淳一	昭47学機 高田 洋	合計 249名
昭40学精 中田 健①	昭43学子 袴塚 邦彦③	昭47学子 五十嵐 喜良④	
昭40学精 堀野 州男	昭43学金 鈴木 竹四	昭48学機 ④ 金子 芳久	

<お詫び> 昨年は5月31日区切りと表示しながら実際は3月31日区切りであったため数名の方の表示に誤りがありました。ご迷惑をおかけいたしました諸兄に謹んでお詫び申し上げます。

平成22年度寄付者名簿

ご寄付有難うございました。

昭18専機 山本 栄治	20,000	昭26専通 菊地 玲二⑤	2,000
昭18専金 市島 健男	10,000	渡辺 彰子様	30,000
昭20専原 友保 伊弘	10,000	(故渡辺益男元支部長令夫人から	
昭20専電 都築 久一	5,000	東京支部創立30周年ご祝儀として頂戴いたしました)	

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。
寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度(平成22年度)の年会費は未納となっています。

会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H18~H22)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H18年からH22年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。 <宛名サンプル例示(C)に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。
- (E) 00111→H20から3年間納付。

101-1234 会報14号在中
東京都千代田区多賀町1-2-3
多賀本町住宅3番街5-2345
多賀専 学太郎様
昭XX学○ (H18~H22) 11100

第5代支部長に選ばれて

次期支部長 上月 秀俊 (昭36学機)

今年6月支部会則より4ヶ月早い本部と合同開催された第31回東京支部総会において三本木支部長の後任として私が選任戴きました。甚だ微力ではありますが会員の皆様のご支援ご協力を賜り東京支部の益々の発展・活性化の為に全力を尽くす決意しております、何卒宜しくお願い申し上げます。



三本木支部長は僅か20ヶ月の在任期間に支部創設30周年記念号発刊・女子会の立ち上げ・東日本大震災に際して早期に各支部と連携し母校支援募金を手掛けられ大きな成果を残されました、誠に苦労様でした。

引き継ぎました私としては大先輩の築かれた道をスピード感を持ち会員の皆様が楽しみに参加して戴ける同窓の集い・同好会へ発展させ次代へ引き継ぎして行きたいと念じております。

支部活動のベースは何と云っても支部活動に関心を持って戴ける人を増やす事、その数字的目安が同窓の集いへの参加員数(100名超え)であり年会費納入者数(300名超え)です、これらは現在

案内を出している方々の5%・15%です。先の母校支援募金にご協力戴きました方々はお願状を差上げた方々の25%近くが募金に賛同され、母校に高いご関心をお持ちの方々が多く居られました、我々の活動も工夫と努力次第で更なる活性化の可能性を感じております。

経験とアイデア豊富な幹事諸氏を中心に検討を進め実行へ移したいこと

- ① 楽しい「同窓の集い」を開催する為の工夫：開催時期・開催時間帯・時間割・講演内容(健康志向・娯楽志向・趣味嗜好・最新技術志向・等)と時間・会費等について
- ② 楽しむ同好会・研鑽する同好会・趣向の同好会等で同窓仲間の先生を見付け出し活動をして戴く支援・支部間交流の活発化で交流の深み・幅を広げる。
- ③ 会員間のコミュニケーション向上：ホームページの利用を高め情報の共有化を図り親睦を図る。(幹事会レベルでは幹事会の議論密度を上げ、時間短縮を図る)

更に将来指向に本部・他支部と協力し母校への支援：学生への力づけ等も推進して行きたい。

最近では昭和40年代の方が増え主流になる方向にありますが50年代60年代へと若手年度の方々に幹事をお願いし支部の永続的発展に繋げて行く所存です、会員の皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

ホームページ編集室から

HP編集室長 矢野 睦男 (昭32学原)

会員の親睦を図るため会の活動情報を提供しようとホームページ(HP)を開設して早くも7年が経過しようとしています。この間同好会の案内、活動報告を主体に約200ページを掲載しました。また昨年後半から新ページを掲載する度にE-MAILを使って、E-MAILアドレスがわかって

いる方には掲載情報を発信することにしました。現在、編集室ではE-MAILアドレスが把握出来ている約200名の方にはメールで会の情報をお知らせしております。メール未受信の方で情報の提供をご希望される方がおられましたら、ホームページTOPよりWebメールでアドレスを編集室宛ご連絡下さるようお願いいたします。

多賀工業会東京支部 HP
URL: <http://tokyo.tagakgk.com/>

編集後記

◇去る6月上野精養軒で、平成23年度多賀工業会本部と東京支部が合同で「同窓の集い」を開催。本部同窓の集いで臼井敏雄氏(昭40学電)が正式に多賀工業会長に就任しました。また大学理事の小林正典幹事長が定年を迎えるために辞し、後任として大貫仁氏(昭47学金)が幹事長に就任いたしました。(三本木)
◇今年例年と異なり本部総会と同日の支部総会となり開催期日が繰り上げられ、おまけに未曾有の東日本大震災がおきたため、この会報の紙面構成も二転三転しました。今年の総会の速報と大震災がらみの記事を組み込みましたが、総会詳報は

次回に回しますことをご了承くださいますようお願い申し上げます。随筆を書いて頂いた皆様方、急に紙面を増やした震災関連のスペースへ快く寄稿文をお寄せ頂いた諸兄に心から御礼申し上げます。4月初旬の母校復旧支援募金のお願い葉書印刷は、マイプリンターによる二日がかりの作業でしたが、沢山の方々のご協賛を戴くことが出来てホッといたしました。ダンケシェーンです。怖いものは「地震、雷、火事、親父」ホント！(兼子)

怖れみし原発事故の起こりたり
あれほど安全と言ひてゐたるに
(3/28朝日歌壇佐々木幸綱氏選 敦賀市上田善朗氏)

編集担当委員

山崎 慎一郎 (昭31学原)	兼子 八郎 (昭38学電)
小林 渡 (昭38学電)	小澤 茂 (昭43学子)
石川 久 (昭44学子)	松田 秀雄 (昭49院子)
二川 克美 (昭63院情)	

多賀工業会東京支部会報【第14号】

発行 平成23年8月27日
発行者 支部長 三本木 武
〒173-0003 東京都板橋区加賀2-3-1-303
TEL&FAX 03-3961-0248

「東京支部会則」

(平成 16 年 10 月 23 日改正)

第 1 章 総則

第 1 条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第 2 条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第 2 章 事業

第 3 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

第 3 章 会員

第 4 条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第 4 章 役員

第 5 条 本会は次の役員を置く。

支部長	1 名
副支部長	若干名
幹事長	1 名
幹事	若干名
会計幹事	1 名
監事	2 名
その他 (同好会幹事、相談役、顧問など)	若干名

第 6 条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第 7 条 役員の職務は、次の通りである。

支部長	本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
副支部長	支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
幹事長	幹事の業務を統括する。
幹事	会の運営業務を夫々分担して遂行する。
会計幹事	本会の収支、及び会計を担当する。
監事	会計を監査し総会で報告する。
同好会幹事	同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。
相談役	支部長の相談に応ずる。
顧問	支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第 8 条 役員の任期は 2 年とし、重任を妨げない。

第 5 章 会議

第 9 条 支部総会は、原則として毎年 10 月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第 10 条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第 11 条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年 4 回 (2、5、8、11 月の第 4 土曜日) 開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第 12 条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の 3 分の 2 以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員の決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第 6 章 会計

第 13 条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第 14 条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第 15 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成 16 年 10 月 23 日より施行する。

細則規定

第 1 条 年会費は、2,000 円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第 2 条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者 (但し、5 年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。)
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近 3 年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第 3 条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第 2 条の対象者以外にも広げて発送する。

第 4 条 慶弔規定は別途定める。

第 5 条 80 歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第 6 条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成 16 年 10 月 23 日よりより施行する。平成 20 年 5 月 24 日に第 5 条を追加し、旧第 5 条は第 6 条に繰り下げとした。平成 22 年 10 月 16 日第 1 条 (2) を追加し、第 2 条(1)を部分改正した。

ご披露宴・結婚式場 大観の絵のあるレストラン ランドーレ 不忍池と上野の社を眼下に眺めて ビヤガーデン

ご宴会・出張料理 伝統に培われた純フランス料理 グリル フクシマ

創業明治5年 〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58
 TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330
<http://www.seiyoken.co.jp>

CYBER LINKS 取締役会長 村上 正義 (昭18専原) 代表取締役社長 村上 恒夫

株式会社 サイバーリンクス *WILL makes anything*

本 社 〒641-0012 和歌山市紀三井寺849-3 TEL 073-448-3600(代) FAX 073-448-3609

各 部 門

通信システム事業部	TEL 073-448-3610	FAX 073-448-3619
地域ネットワーク事業部	TEL 073-448-2517	FAX 073-448-3639
カスタマサービス事業室	TEL 073-448-3640	FAX 073-448-3649
モバイルネットワーク事業部	TEL 073-448-3680	FAX 073-448-3689
リテイルネットワーク事業部	TEL 073-448-3660	FAX 073-448-3669

各事業所

東日本支社	〒169-0051	東京都新宿区西早稲田3-30-16	HORIZON.1ビル5F	TEL 03-5285-3711	FAX 03-5285-3700
西日本支店	〒530-0056	大阪市北区兎我野町6-12	NTT西日本兎我野ビル4F	TEL 06-6316-8288	FAX 06-6316-0075
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅東2-5-19	サンライフ第3ビル7F	TEL 092-432-2690	FAX 092-432-2692
田辺営業所	〒646-0032	田辺市下屋敷町31番地1	テレコムビル5F	TEL 0739-26-1300	FAX 0739-81-3225
新宮営業所	〒647-0014	新宮市浮島1番28号	中本ビル2F	TEL 0735-22-6887	FAX 0735-22-7180
仙台オフィス	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-5	タカノボル第25ビル12F	TEL 03-6413-0350	FAX 03-3558-3055
MDBセンタ	〒174-0041	東京都板橋区舟渡1-6-22	城北センター3F	TEL 03-6413-0350	FAX 03-3558-3055

私たち大協印刷は、
印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。
ぜひ一度ご相談ください。

大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14
 TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp
<http://www.daikyo-print.co.jp>